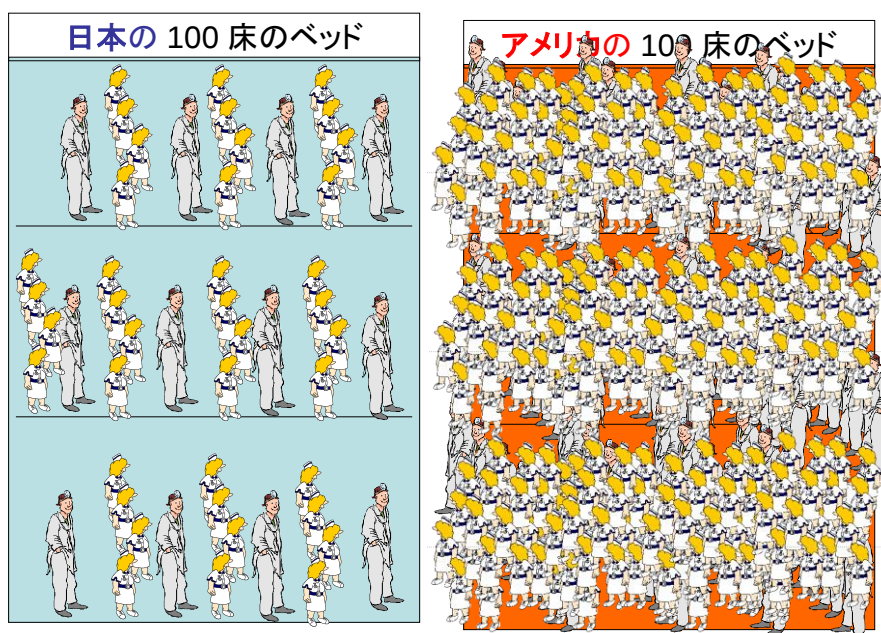


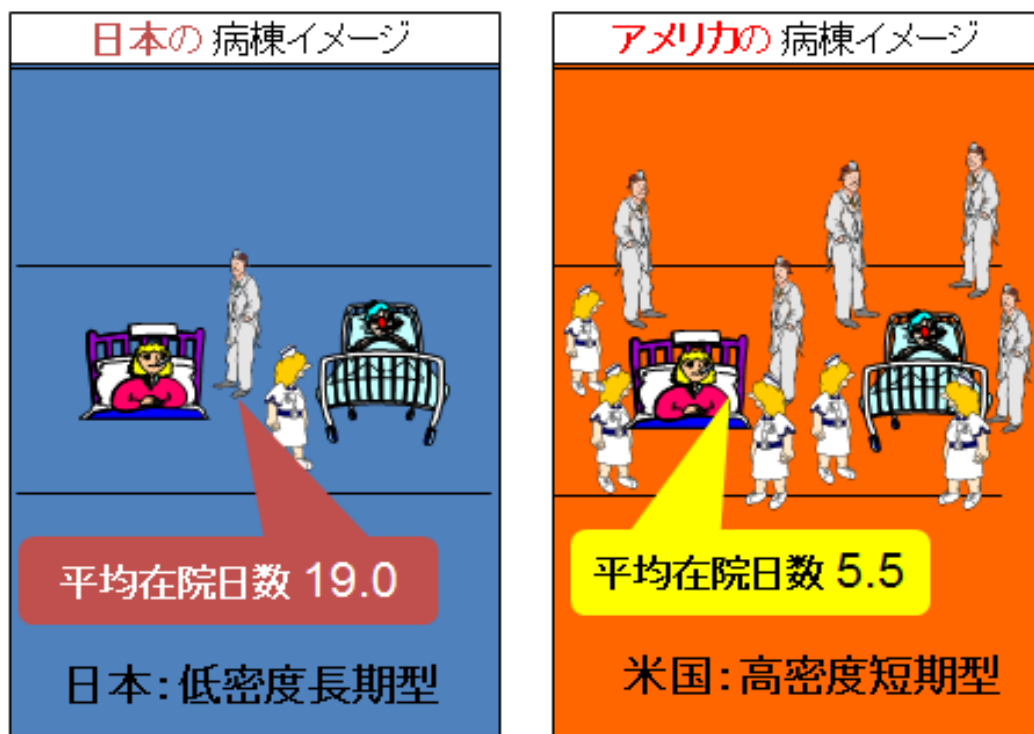
## 国際比較から見た日本の医療提供体制の特徴

## 医療分野についての国際比較(2007年)

|                     | アメリカ   | イギリス  | ドイツ   | フランス  | スウェーデン  | 日本       |
|---------------------|--------|-------|-------|-------|---------|----------|
| 人口千人当たり<br>総病床数     | 3.1    | 3.4   | 8.2   | 7.1   | —       | 13.9     |
| 人口千人当たり<br>急性期医療病床数 | 2.7(※) | 2.6   | 5.7   | 3.6   | 2.1     | 8.2      |
| 人口千人当たり医師数          | 2.4    | 2.5   | 3.5   | 3.4   | 3.6(※)  | 2.1(※)   |
| 病床百床当たり医師数          | 77.5   | 72.7  | 42.5  | 47.2  | —       | 14.9(※)  |
| 人口千人当たり<br>看護職員数    | 10.6   | 10.0  | 9.9   | 7.7   | 10.8(※) | 9.4(※)   |
| 病床百床当たり<br>看護職員数    | 337.2  | 294.2 | 120.7 | 108.2 | —       | 66.8(※)  |
| 平均在院日数              | 6.3    | 8.1   | 10.1  | 13.2  | 5.8     | 34.1     |
| 平均在院日数<br>(急性期)     | 5.5    | 7.2   | 7.8   | 5.3   | 4.5     | 19.0     |
| 人口一人当たり<br>外来診察回数   | 3.8(※) | 5.0   | 7.5   | 6.3   | 2.8(※)  | 13.6(※)  |
| 一人当たり医療費(米ドル)       | 7,290  | 2,992 | 3,588 | 3,601 | 3,323   | 2,581(※) |
| 総医療費の対GDP比(%)       | 16.0   | 8.4   | 10.4  | 11    | 9.1     | 8.1(※)   |
| OECD加盟諸国間での順位       | 1      | 19    | 4     | 2     | 14      | 21       |
| 平均寿命(男)(歳)          | 75.4   | 77.4  | 77.2  | 77.8  | 79.4    | 79.6     |
| 平均寿命(女)(歳)          | 80.4   | 81.6  | 82.4  | 84.5  | 83.4    | 86.4     |

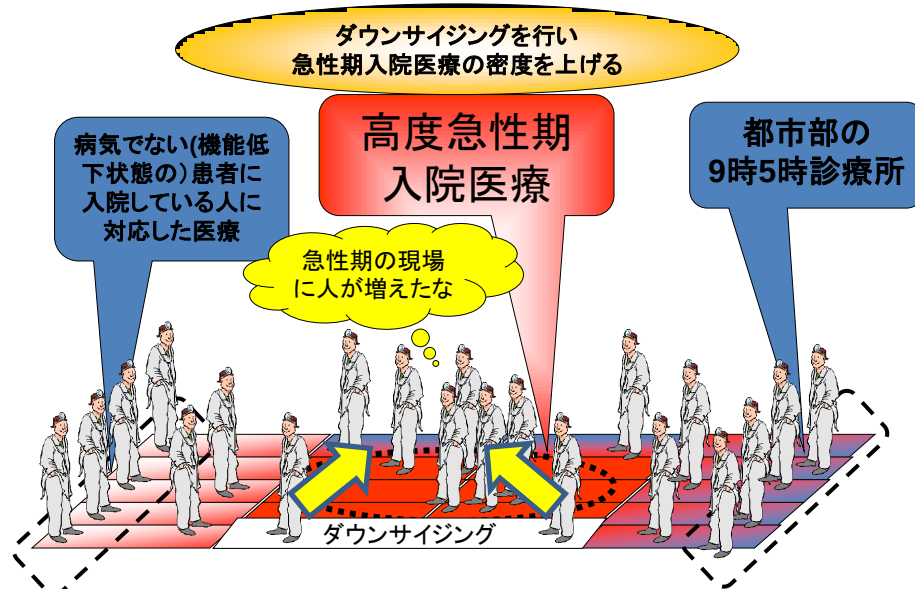
日本とアメリカの病棟の人員配置レベルは、こんなに違う





日本の急性期医療は、高密度短期型を目指す必要がある。

## (医療制度再編の基本方針) (1) 急性期病床のダウンサイジング

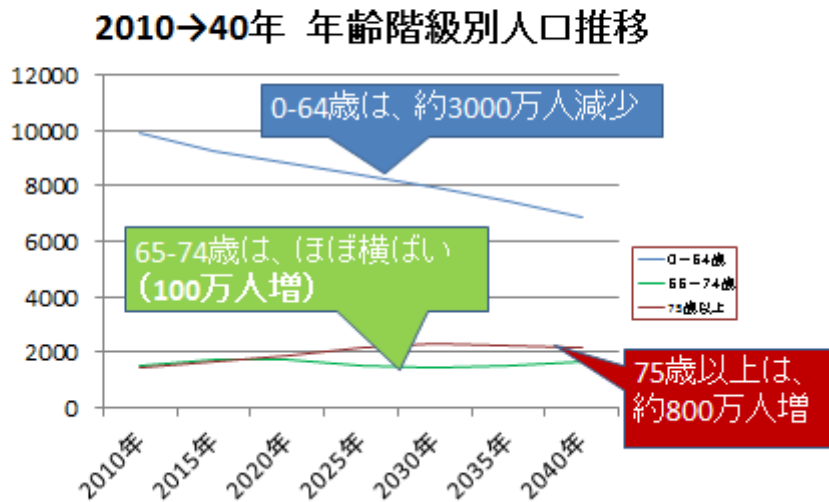


急性期病の数を減らし、医師や看護師の密度を上げる必要がある。

(A) 2013 年 4 月 19 日社会保障制度改革国民会議でのプレゼンの概要

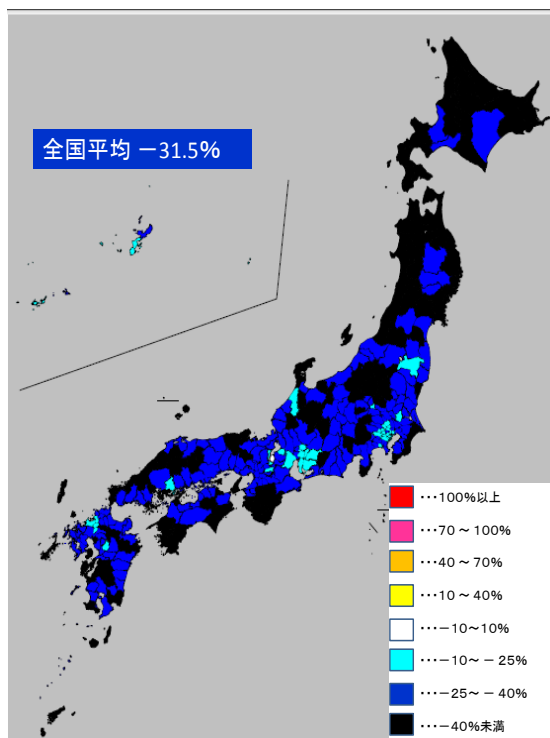
I. 今後の人口変動をどのように捉えるべきか

**I - ①わが国全体では、  
若年層が激減、高齢者が急増**

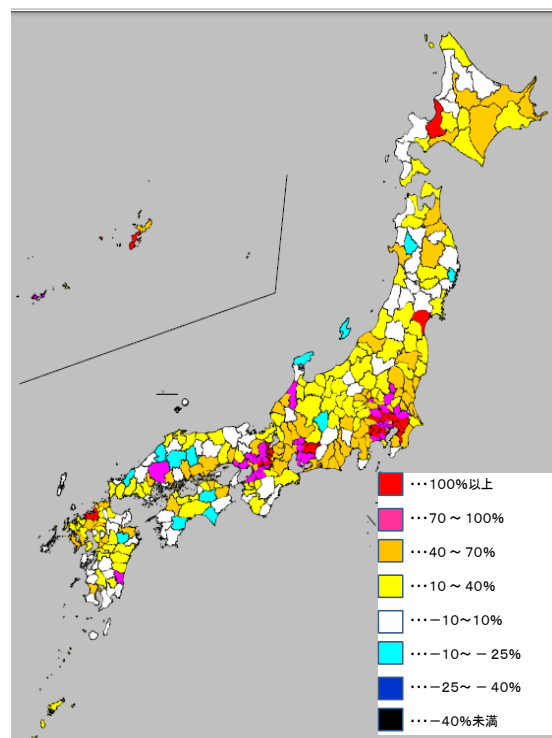


◎今後 30 年、75 歳以上は急増だが、0-64 歳の大幅減で、総人口 2100 万人減少

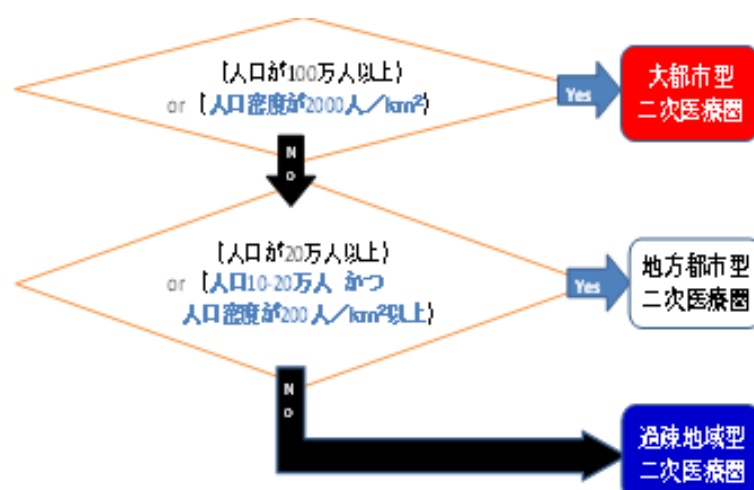
2010 年→35 年年代別地域別人口の増減



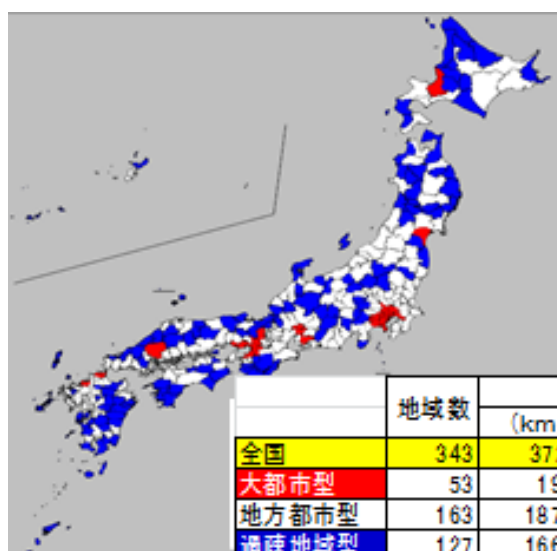
0 - 6 4 歳の減少率



75 歳以上の増減率



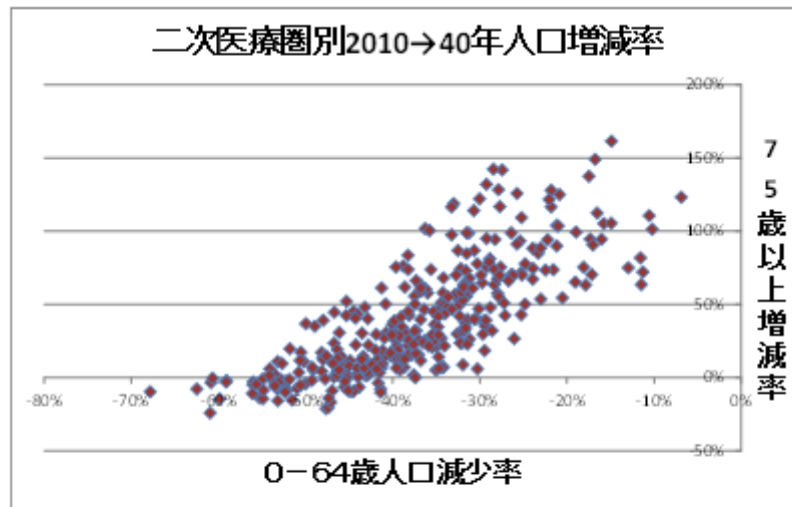
- 343個ある二次医療圏を、(人口が100万人以上)または(人口密度が2000人/km<sup>2</sup>)の条件を満たす二次医療圏を**大都市型二次医療圏**に、
- (人口が20万人以上)または(人口10-20万人 かつ 人口密度200人/km<sup>2</sup>以上)の条件を満たす二次医療圏を**地方都市型二次医療圏**に、
- その他を**過疎地域型二次医療圏**に分けると、以下の地図に示すように日本を三つのグループに分けることができる。



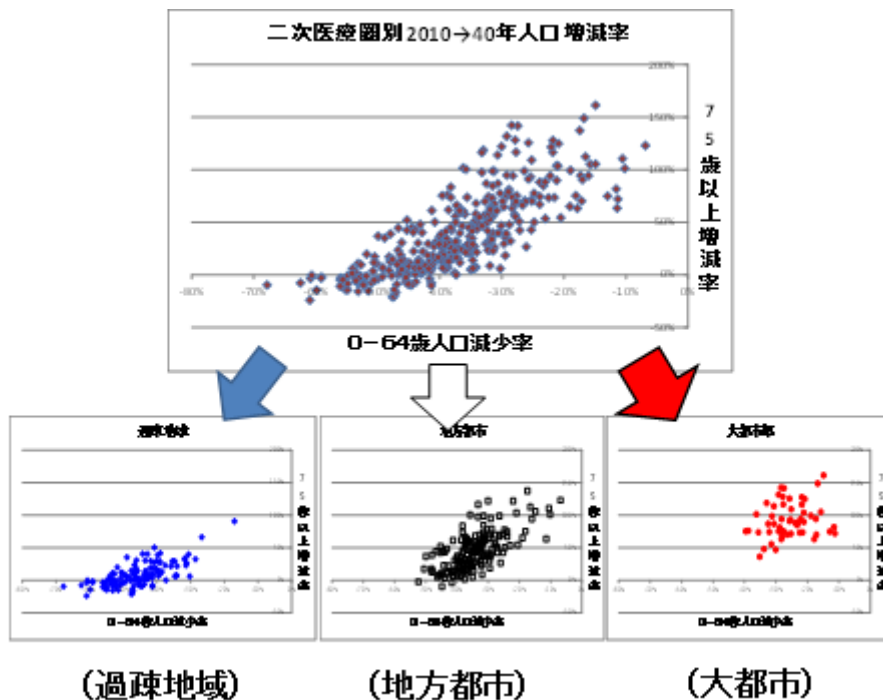
|       | 地域数 | 面積                 |      | 人口    |      | 人口密度                 |
|-------|-----|--------------------|------|-------|------|----------------------|
|       |     | (km <sup>2</sup> ) | (%)  | (万人)  | (%)  | (人/km <sup>2</sup> ) |
| 全国    | 343 | 372903             | 100% | 12806 | 100% | 343.4                |
| 大都市型  | 53  | 19362              | 5%   | 5696  | 44%  | 2942.1               |
| 地方都市型 | 163 | 187534             | 50%  | 5903  | 46%  | 314.8                |
| 過疎地域型 | 127 | 166008             | 45%  | 1206  | 9%   | 72.6                 |

このルールに従うと、以下の表に示すように、53個の大都市型、163個の地方都市型、127個の過疎地域型の二次医療圏に分かれる。

大都市型は、我が国の5%の面積を占めるが、そこに全人口の44%が住み、平均の人口密度が2942人/km<sup>2</sup>である。地方都市型は、我が国の面積の50%を占め、人口の46%が住んでおり、平均人口密度が約315人である。過疎地域型は、我が国の面積の45%を占めるが、人口のわずか9%としか住まず、人口密度が73人/km<sup>2</sup>である。



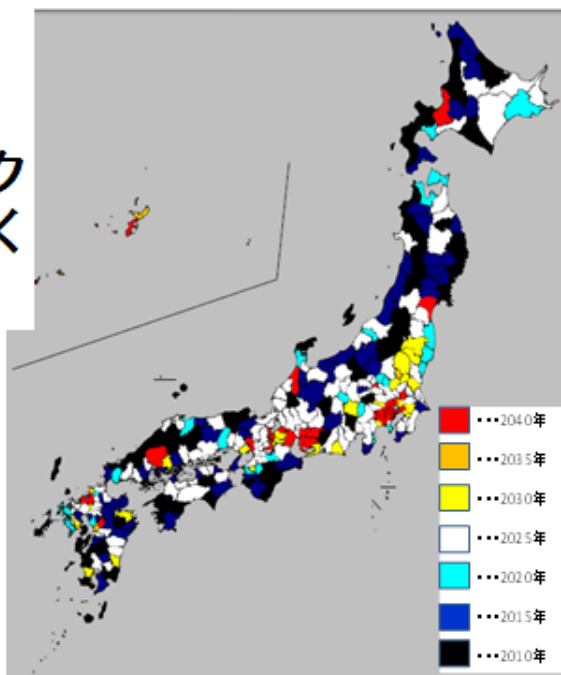
- 以下のグラフは、横軸が2010年から40年にかけての0-64歳の人口減少率、縦軸が2010年から40年にかけての75歳以上人口の増減率を、各プロットは、二次医療圏の状況を表す。



- 大都市型の二次医療圏は、0-64歳の人口減少が少ないかわりに、75歳以上の人口は大幅に増える。
- 逆に、過疎地型の二次医療圏では、75歳以上の人口はほとんど増えないが、0-64歳の人口が大幅に減少する。
- ◎人口動態は、地域により大きく異なるが、大都市、地方都市、過疎地域と分けることにより、今後の人口動態の動向をある程度把握できるようになる。

## II.医療福祉の再構築にむけて

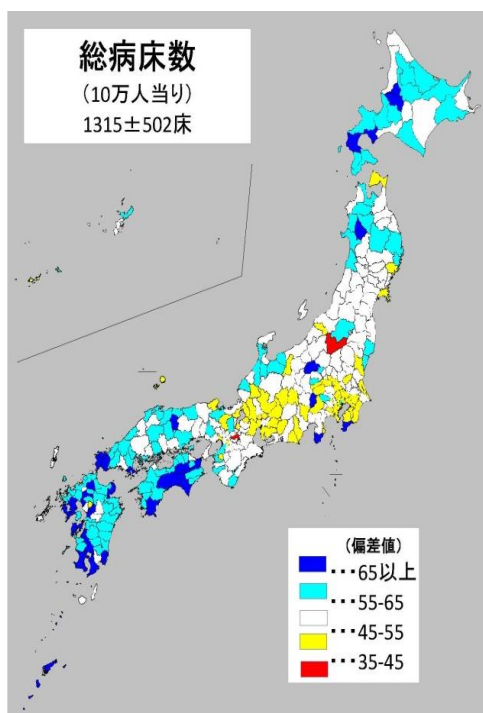
### II-① 地域により 医療需要ピーク の時期が大きく 異なる



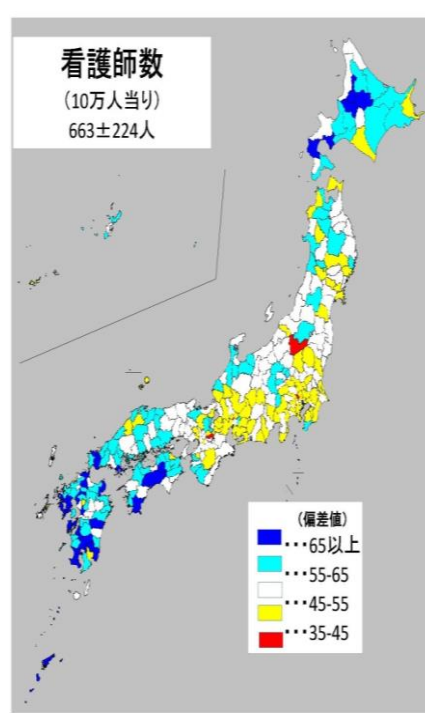
- 今後も現在と同じ医療が提供される（価格も内容も変化しない）と仮定し、人口構成のみが変化した場合、我が国の医療需要ピークがいつどの時期にくるのかを示したものである。地域により医療需要のピークの時期が大きく異なることが分かる。

### II-②地域により医療福祉資源レベルが大きく異なる

#### (1) 総病床数

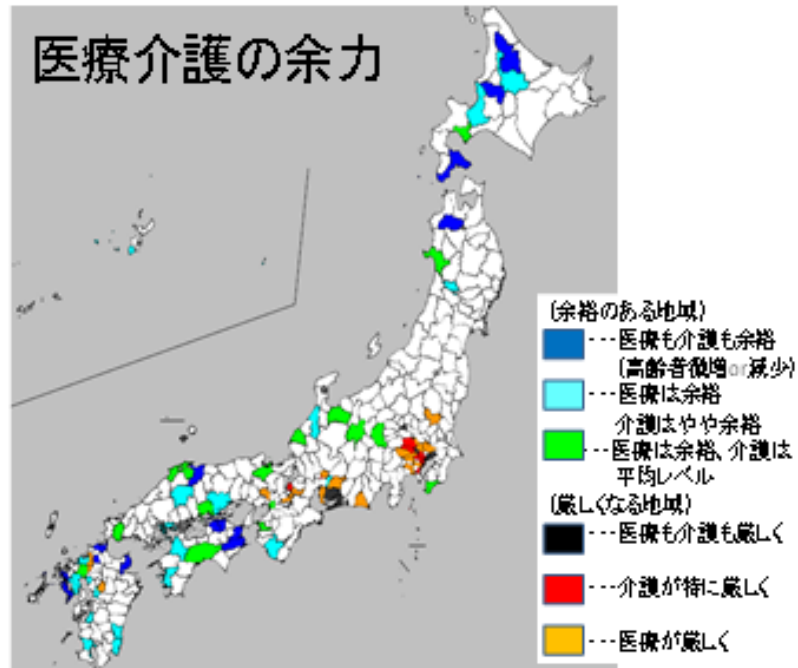


#### (2) 病院看護師数



II-③各地域の医療需要ピークや現在の資源レベルを考慮した医療福祉提供体制の再構築

## 現在の資源レベルと需要予測をもとに 各地域の将来の医療介護の余力を評価



(結語)

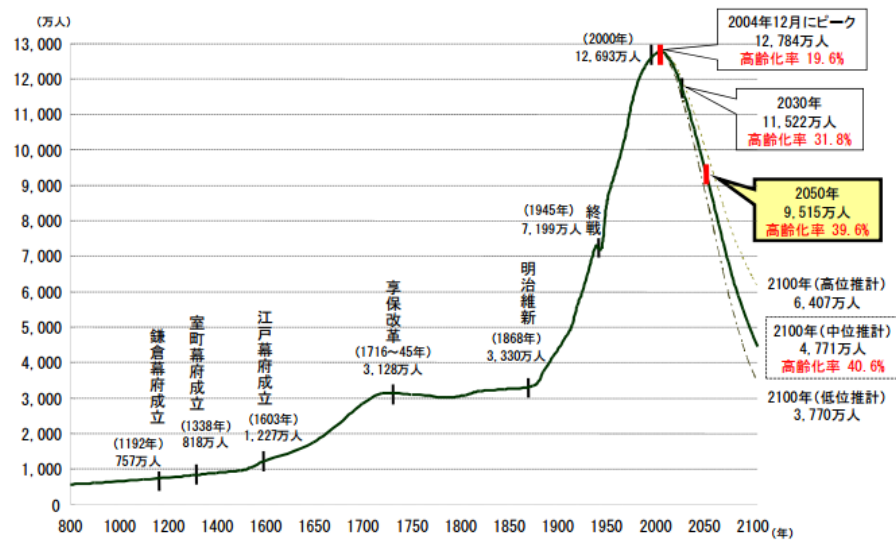
- 地域により、人口動態が大きく異なり、医療需要のピークの時期や程度も大きく異なる。また施設や人員レベルも地域差が大きい。
- まず、それぞれの地域が大都市型なのか、地方都市型なのか、過疎地域型なのかを把握し、更に他の二次医療圏と比較して、医療需要のピークが来るのが早い遅いか、施設や人員レベルは充実しているかなど、「自分の地域の特性」を踏まえた対応を検討することが重要である。
- また、これまでのような「短期(5年)の医療福祉整備計画」だけでなく、「20～30年先までの予測を考慮した中長期の医療福祉整備構想」を検討する必要がある。

## （B）人口減少による生活への影響

### ○国土交通省長期展望

#### 【図 I-1】我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。

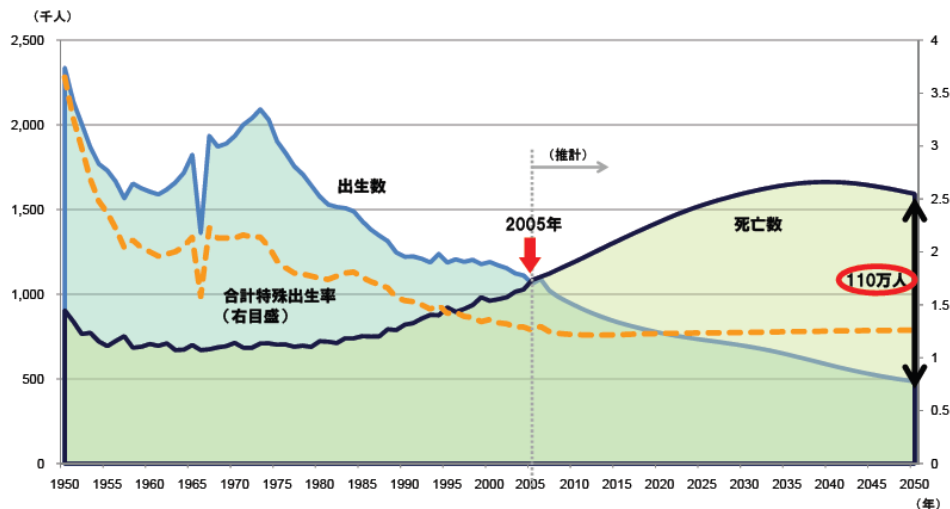


（出典）総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」（1974年）をもとに、国土交通省国土計画局作成

2

#### 【図 I-3】2050年には年間110万人の自然減少

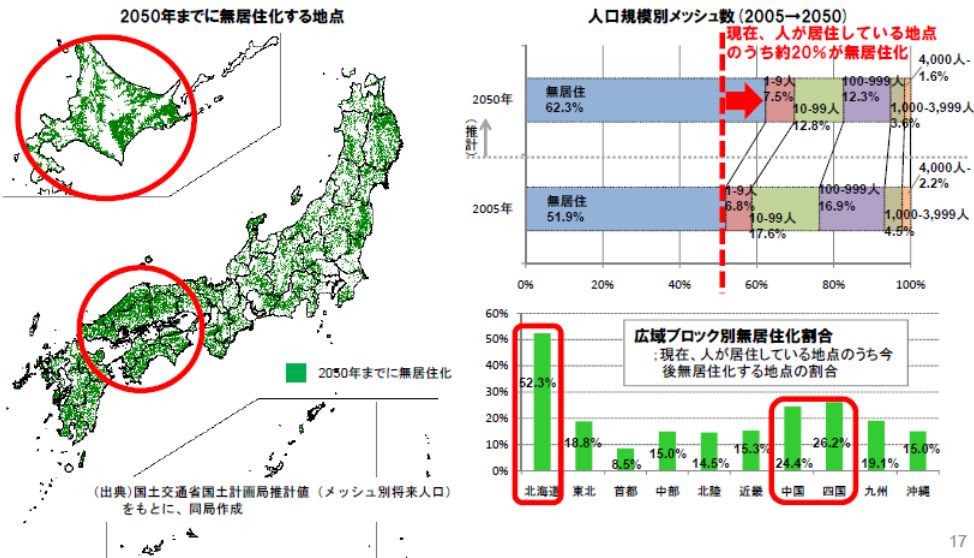
○2005年に死亡者数が出生者数を超え、自然減少の局面に。2050年には1年あたりの自然減少が110万人まで増加する。



2005 年を 100 とした場合、2050 年には 66.4% の地域で現在の半以下に

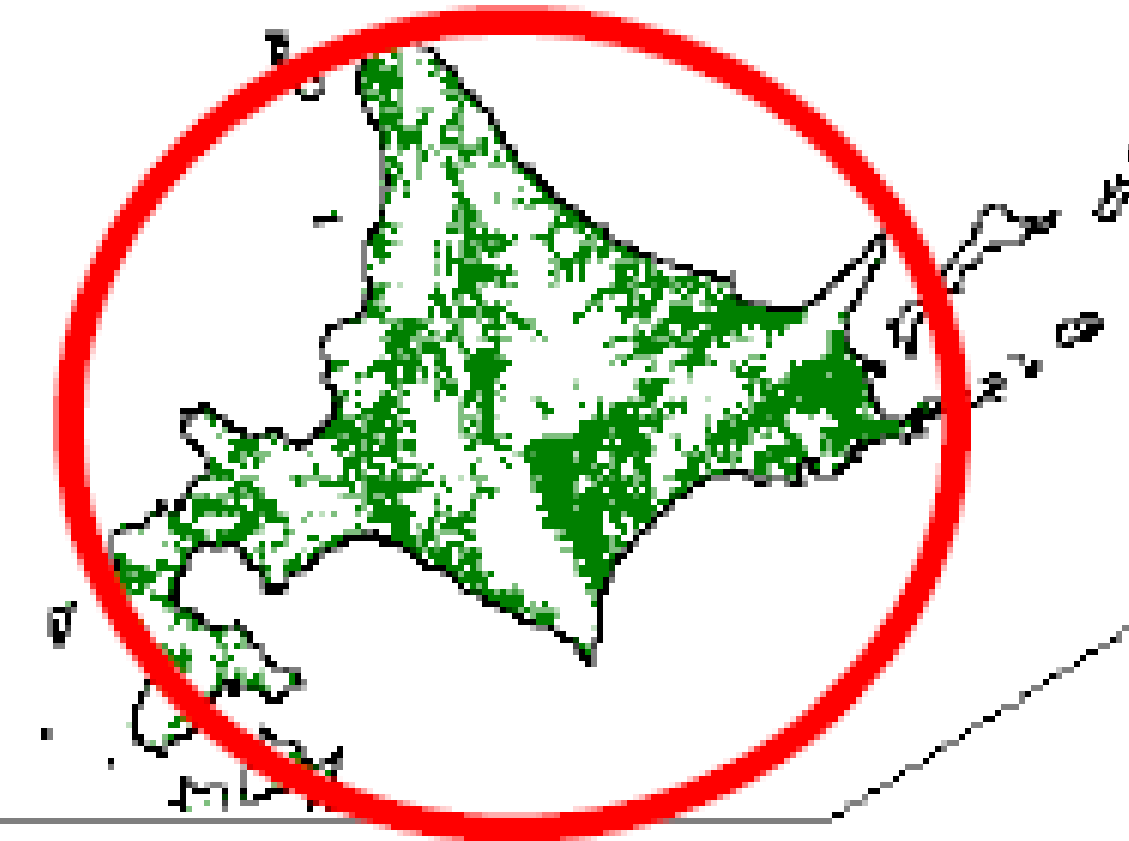
【図Ⅱ-7】2050年までに居住地域の2割が無居住化

○《居住・無居住の別》でみると、2050年までに、現在、人が居住している地域のうち約2割の地域が無居住化する。現在国土の約5割に人が居住しているが、それが4割にまで減少。離島においては、離島振興法上の有人離島258島（現在）のうち約1割の離島が無になる可能性。



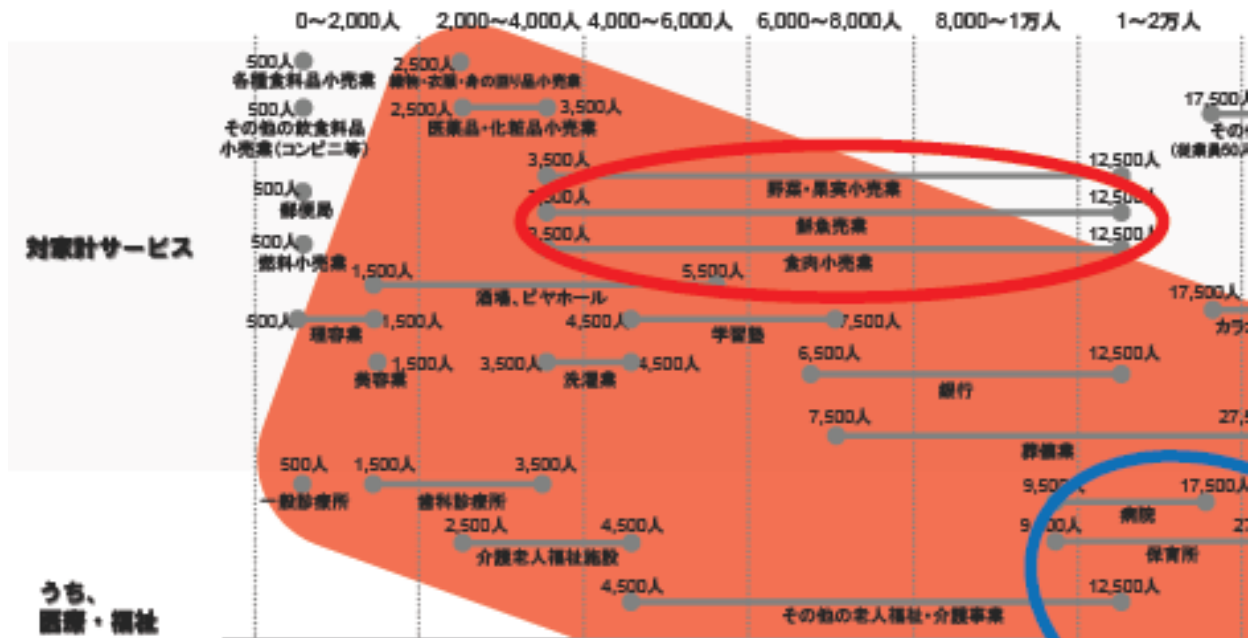
17

北海道は、62.3%が無居住化



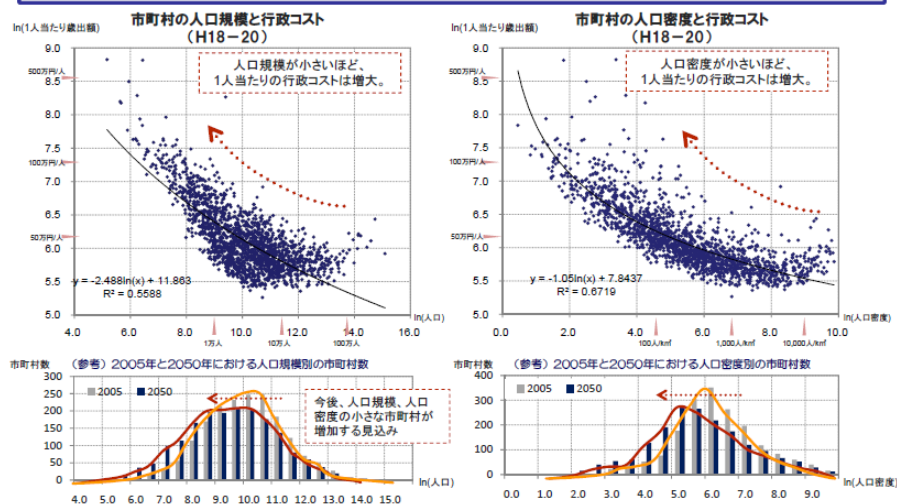
## 【図Ⅲ-6】地域の人口減少により、医療など生活円

＜当該市町村に立地する確率が50%及び80%を超える人口規模＞



## 【図Ⅲ-8】人口規模・密度が低下すると行政コストが増加

○人口規模や人口密度の低下は、1人当たりの行政コストを上昇させる。

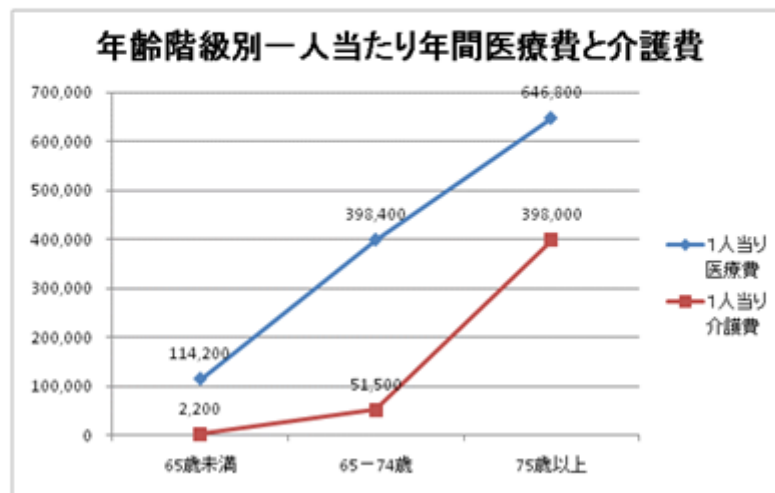


（出典）行政コストは、総務省「平成18年～20年市町村別決算状況調査」をもとに、国土交通省国土計画局作成。平成18～20年の3年の平均値をもとに算出。  
2050年の市町村別人口・人口密度は、国土交通省国土計画局推計値  
2005年、2050年ともに、人口規模別の市町村数は、平成20（2008）年12月1日現在の1,805市区町村を基準に分類

36

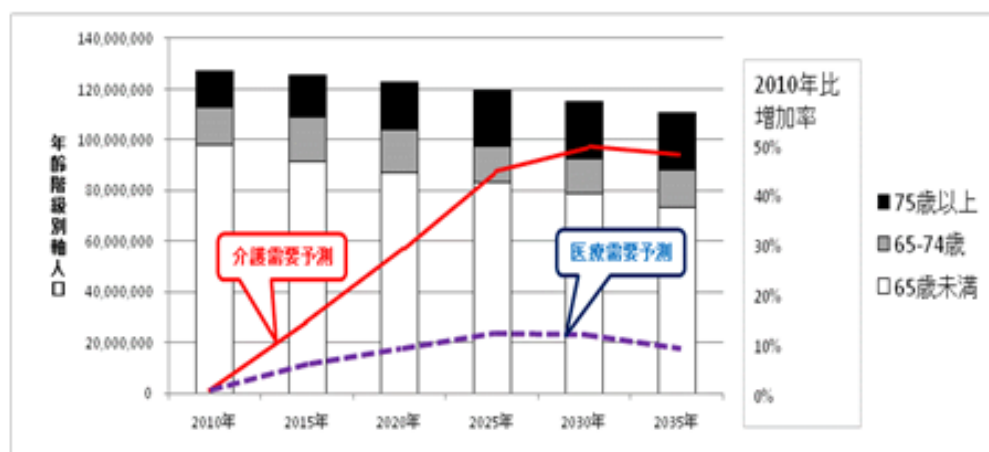
## 医療と介護の需要見込み

### ポイント5 年齢とともに徐々に高くなる医療費、 75歳を過ぎると急激に増え始める 介護費

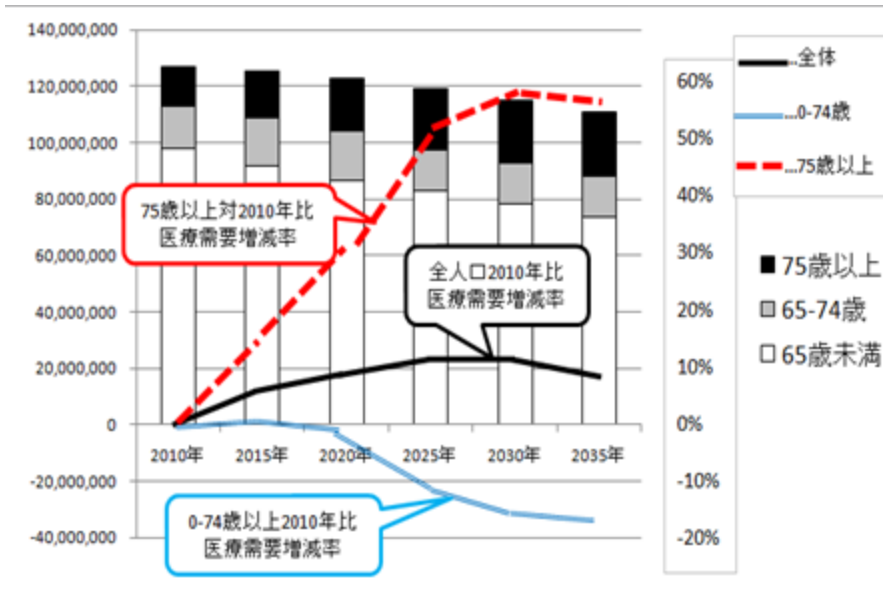


## 介護の需要ピークは 2030 年 49.7%増（医療は 2025 年 11.1%増）

### ポイント6 介護の需要ピークは2030年49.7%増 （医療は2025年11.1%増）



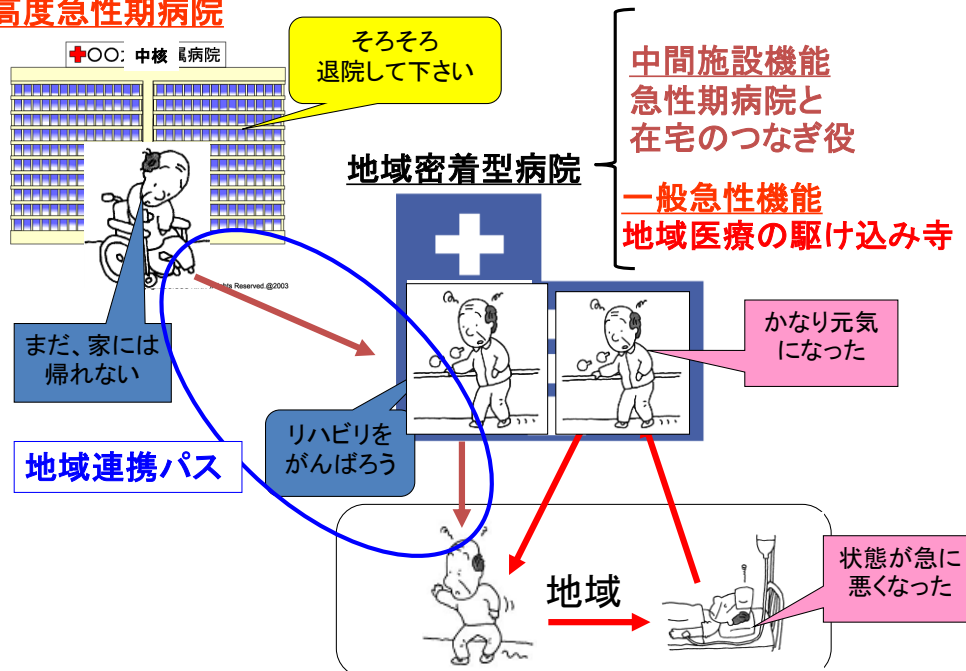
## （医療の需要予測）



2010 年時点で約 1400 万人である 75 歳以上人口が、2025 年に向けて 1.5 倍の 2100 万人まで急増する。すでに 0-64 歳人口は減少し始め、65-74 歳人口も 2015 年をピークに減少することを考えると、0-74 歳が主に使う高度急性期病院の需要は、今後伸びないと思われる。

今後需要が伸びるのは、75 歳以上が主に使用する、機能レベルの低下した虚弱や要介護の 高齢者の生活を支える医療や介護である

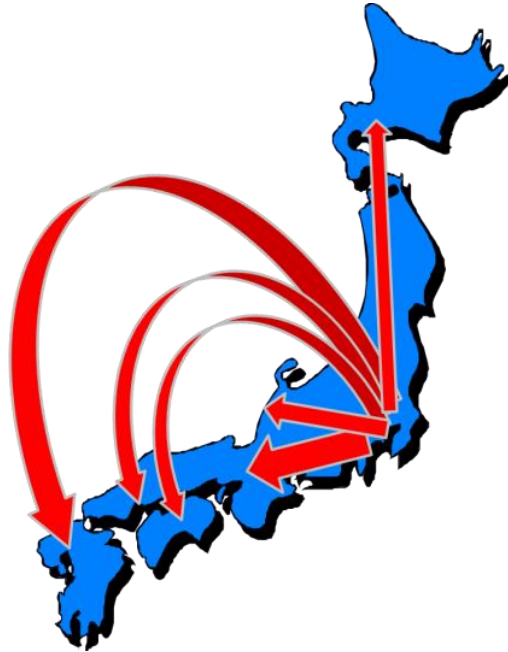
## 高度急性期病院



## 対策

人口減少型社会に向けた 4 つの処方箋

処方箋 1：首都圏（大都市圏）から 地方への移住



処方箋 2：超過疎地域からの 計画的早期撤退

（真にリーダーシップが求められるのは、撤退のときである）



窮地に陥った織田信長が、まず単独で脱出。

そして全軍が戦場を離脱した。

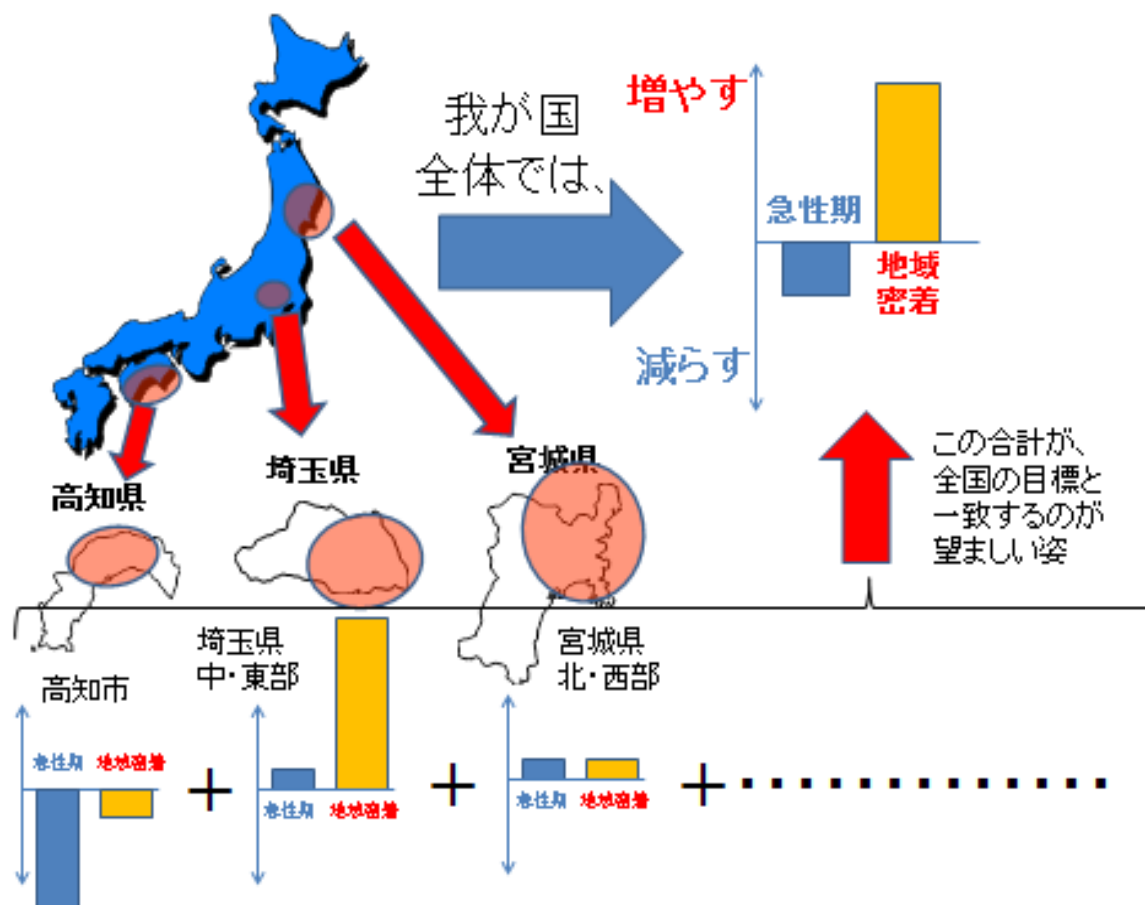


## 司馬遼太郎

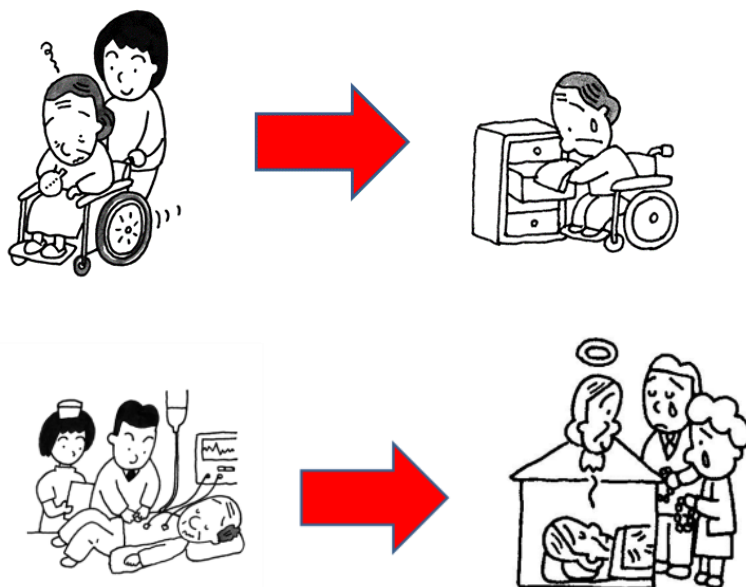
「信長の天才性は、桶狭間のような少数奇襲をその後『しなかった』ことと、この時にあつというまに逃げ出したことだ」

◎計画的に撤退をすれば被害が少ない（時には無傷ですむ）が、撤退の時期を誤ると、命取りになる。

### 処方箋 3：国全体と地域のバランスの取れたインフラ整備



### 処方箋 4 自立型老い、自然死の 比率を高める



## 巻末資料1 2次医療圏データベースの紹介

2次医療圏データベースは、筆者と石川雅俊(国際医療福祉大学大学院博士課程)と株式会社ウェルネスの3者が共同で開発した「医療・福祉資源情報」と「2次医療圏ごとの地理データ(年齢階級別人口、面積など)」を組み合わせマイクロソフト・エクセル上で展開したデータベースである。二次医療圏データベースは2011年1月10日よりWeb上で公開、その後2回のバージョンアップを行い、現在バージョン3を、以下のアドレス(<http://www.wellness.co.jp/siteoperation/msd/>)から無償でダウンロードすることができる。是非、データを参照したり、活用されたりすることを強くお勧めする。

(図1-1)に、2次医療圏データベースの中心的な役割を果たす「巧見(たくみ)くん」というシートの内容を示す。各2次医療圏の病床情報、病院勤務医数、看護師やセラピストの数、病院や施設や高齢者住宅数に関する情報、人口、人口密度、面積、年齢階級別の2010年から35年までの5年ごとの人口推計データが示されている。

2次医療圏データベースはエクセル上に種々のデータを示しているため、データの種々の活用ができる。2次医療圏データベース上のデータを組み合わせて新たな指標を作成することにより、医療圏別人口10万人当り医師数やセラピスト数の計算や、年齢階級別人口推移のデータを用いた医療需要の予測などを行うことができる。また、2次医療圏間の比較を容易に行えるため、図3に示す面積の広い順に2次医療圏を並べ替えるなど、並べ替えもお手の物である。更に種々のグラフを簡単に作成できる。

またこのデータベースには、2次医療圏ごとに色を指定し、日本地図上に示す機能を搭載した。今回のレポートに示すシミュレーションや、結果の地図表示等は、2次医療圏基礎データを主に用いて作成した。

| 二次医療圏 | 色指定 | 二次医療圏略称 | 市町村概要        | 病院数   | 病床数       |
|-------|-----|---------|--------------|-------|-----------|
| 全国    |     |         |              | 8,658 | 1,672,549 |
| 南渡島   |     | 函館(北海道) | 函館市、北斗市及び周辺部 | 38    | 8,140     |

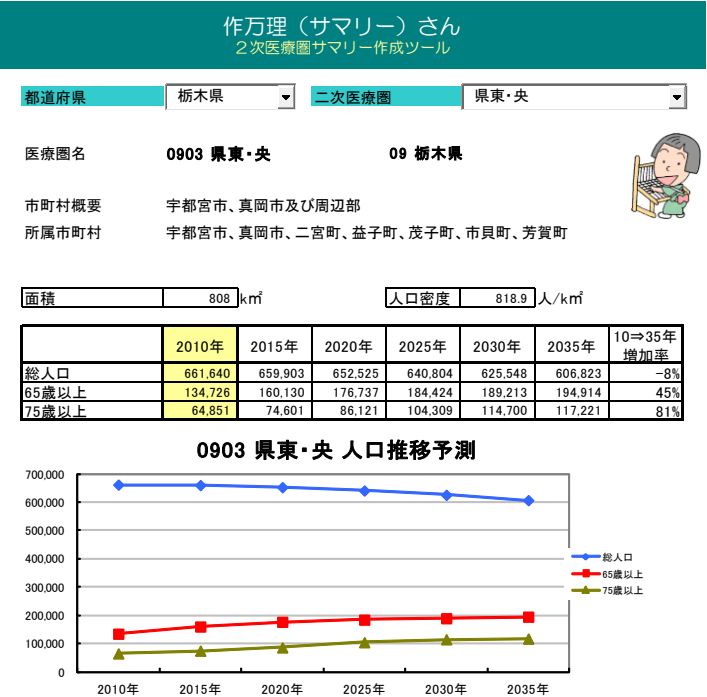
| 一般病床数   | 療養病床数   | 精神病床数   | 結核病床数  | 回復期病床数 | 感染病床数 | 病院勤務医数  | 看護師     | 准看護師    | 理学療法士  | 作業療法士  | 言語聴覚士 |
|---------|---------|---------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|--------|--------|-------|
| 915,096 | 333,717 | 349,345 | 10,872 | 61,697 | 1,822 | 157,166 | 682,604 | 161,126 | 47,541 | 30,795 | 9,663 |
| 4,467   | 1,372   | 1,893   | 80     | 322    | 6     | 539     | 2,984.2 | 1,027.4 | 176    | 119    | 58    |

| DPC対象病院 | 大学病院 | 救急救命センター | 地域医療支援病院 | がん診療拠点病院 | 周産期母子医療センター | 総合入院加算 | 老人保健施設収容数 | 特別養護老人ホーム収容数 | 高齢者住宅数  |         |        |         |
|---------|------|----------|----------|----------|-------------|--------|-----------|--------------|---------|---------|--------|---------|
|         |      |          |          |          |             |        |           |              | 有料老人ホーム | グループホーム | 高齢者住宅計 | その他計    |
| 1,333   | 163  | 203      | 298      | 377      | 337         | 202    | 308,426   | 396,267      | 235,778 | 157,413 | 76,102 | 170,849 |
| 6       | 0    | 1        | 1        | 2        | 2           | 1      | 1,394     | 1,423        | 841     | 1,015   | 386    | 989     |

| 人口          | 人口密度  | 面積      | 2010年(総人口)  | 2015年(総人口)  | 2020年(総人口)  | 2025年(総人口)  | 2030年(総人口)  | 2035年(総人口)  | 2010年(65歳以上人口) | 2015年(65歳以上人口) |
|-------------|-------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|----------------|
| 127,176,445 | 344.4 | 369,271 | 127,176,445 | 125,430,199 | 122,734,999 | 119,269,818 | 115,223,669 | 110,679,388 | 29,405,117     | 33,773,129     |
| 404         | 151.2 | 2,670   | 403,764     | 383,791     | 361,192     | 337,002     | 312,070     | 286,853     | 109,396        | 121,437        |

(図1-1: 2次医療圏基礎データの内容)

このデータベースには、(図 1-2) に示す 2 次医療圏ごとのサマリーを作成する「作万理 (さまり) さん」というデータの見える化ツールが搭載されている。この情報を見ることにより、簡単に各 2 次医療圏の概要を理解することができる。



(図 1-2 : さまりさんの画面)

図 2 に、全国病院一覧のデータの内容を示す。黄色で示されたのが 2 次医療圏の集計、白色で示されたのが各病院の情報である。このデータから例えば市立函館南茅部病院は、DPC や大学病院などの指定を受けていないこと、病床数が 59、その内訳が一般病床 37、療養病床 22 であることがわかる。このデータベースには、全国の 8775 病院の同様の情報が搭載されている。また、エクセルの機能を利用すれば、DPC 病院や 500 床以上の病院の選択、病床数順による並び替えなど、病院に関する種々の解析が可能になる。

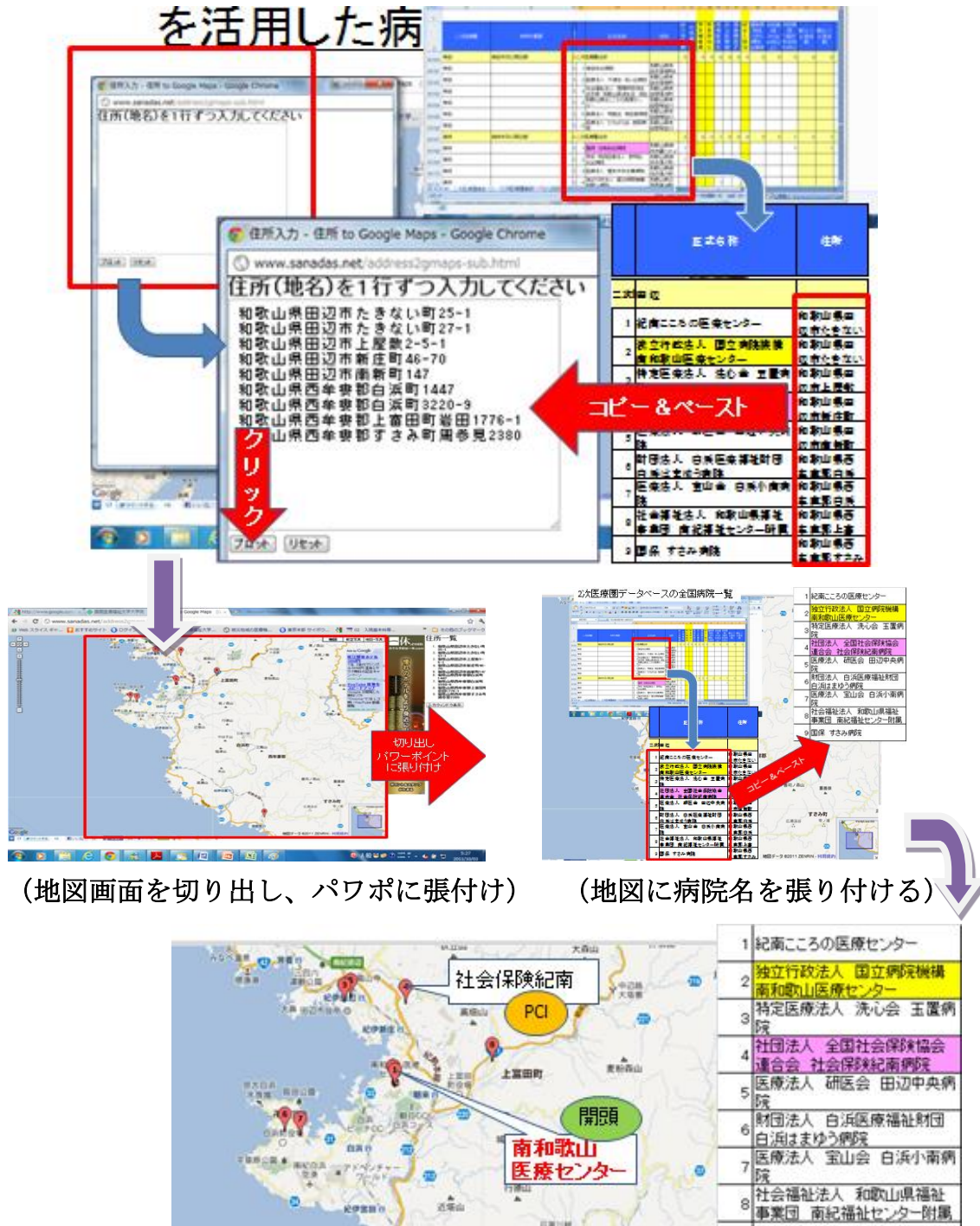
| 二次医療圏 | 市町村概要        | 区分        | 正式名称            |
|-------|--------------|-----------|-----------------|
| 南渡島   | 函館市、北斗市及び周辺部 | 0 二次医療圏合計 |                 |
| 南渡島   |              | 1 施設詳細    | 市立函館南茅部病院       |
| 南渡島   |              | 1 施設詳細    | 医療法人 函館循環器科内科病院 |

| 住所            | DPC対象病院 | 大学病院 | 救急救命センター | 地域医療支援病院 | がん診療拠点病院 | 周産期母子医療センター | 総合入院加算 |
|---------------|---------|------|----------|----------|----------|-------------|--------|
|               | 6       | 0    | 1        | 1        | 2        | 2           |        |
| 北海道函館市安浦町92   |         |      |          |          |          |             |        |
| 北海道函館市花園町24-5 |         |      |          |          |          |             |        |

| 病床数   | 一般病床  | 療養病床  | 精神病床  | 結核病床 | 感染症病床 | 所属市町村                           |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|---------------------------------|
| 7,818 | 4,467 | 1,372 | 1,893 | 80   | 6     | 函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、森町 |
| 59    | 37    | 22    |       |      |       |                                 |
| 65    | 32    | 33    |       |      |       |                                 |

(図 2 : 病院一覧のデータ内容)

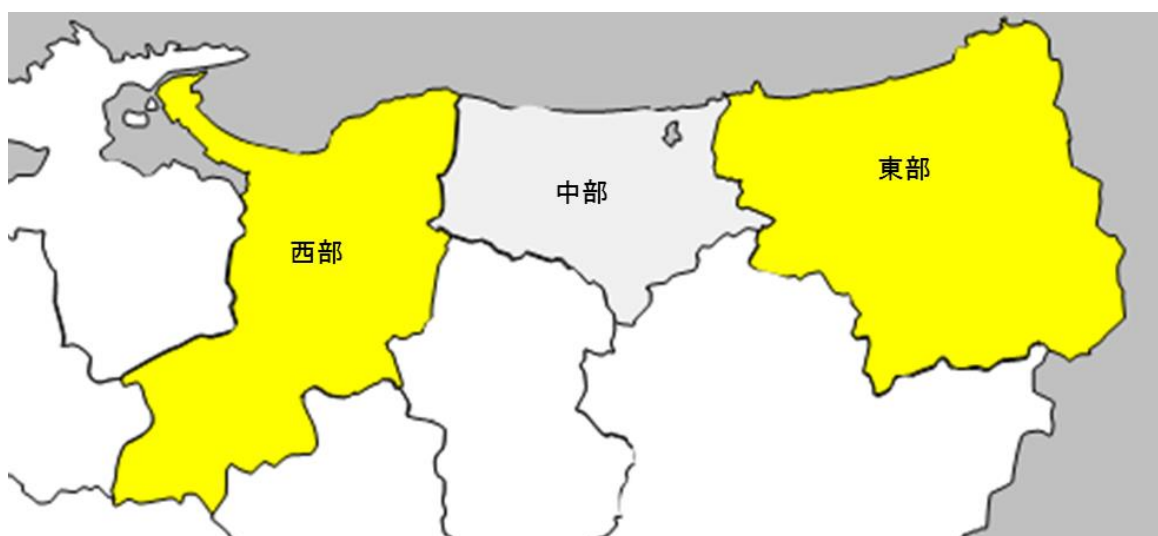
またフリーの地図ソフト(<http://www.sanadas.net/address2gmaps.html>)と、図3に示す手順で病院の住所を組み合わせる使用することにより、容易に各地の病院マップを作製できる。住所を規定の枠に流し込むとグーグルマップ状にフラグを立てて示してくれる上記フリーソフトに、2次医療圏データベースの全国病院一覧の施設の住所を流し込み、地域の病院マップを作製するのが基本的な考え方となる。



(図3: 地図ソフトと全国病院一覧を組み合わせた地域病院マップの作製手順)

## 巻末資料 2：日医総研ワーキングデータ（鳥取県のデータ）

# 31. 鳥 取 県



### 3 1 鳥取県

#### A. 医療提供体制の現状

鳥取県は、人口 59 万人で日本で最も人口の少ない県であり、医療圏の数も徳島県と並び 3 個と日本で一番少ない。鳥取県の特徴は、（１）人口当たりの潤沢な医療資源、生かし切れていない医療資源、（２）医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散である。

##### （１）人口当たりの潤沢な医療資源、

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 56、一般病床が 58、総医師数が 54（病院勤務医数 55、診療所医師 52）、総看護師数が 57、全身麻酔数 57 と、高水準である。

##### （２）医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散

医学部のある西部（米子）は、高水準の医療資源が整っており、山陰の医療の中心である。一方、東部（鳥取）も中部（倉吉）も一定水準の医療資源が整っており、西部以外の医療圏へも資源の分散が行われている。これらの資源が有効に活用される、地域での適切な医療資源のマネジメントが期待される。

#### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

##### （東部）

東部（鳥取）は、人口約 24 万人、面積 1,519/km<sup>2</sup>、人口密度は約 150 人/km<sup>2</sup>であり、地方都市型二次医療圏である。鳥取にはには医学部がないが、年間全身麻酔 1,000 件を超える **県立中央病院**（救命救急）、鳥取市立病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 55（一般病床 55、療養病床 53、精神病床 54）、総医師数が 47（病院勤務医数 46、診療所医師 48）、総看護師数 57、全身麻酔数 52 であり、医学部のない地方都市としては高レベルの医療提供体制である。総高齢者ベッド数は偏差値 49 である。

2010→40 年の医療の総需要が 2%減、0-64 歳が 37%減、75 歳以上が 32%増であり、今後この地域及び鳥取県全体での急性期医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。まず、地域の医療資源を有効活用するための、地域での医療資源のマネジメントと同時に、将来の人口減少を見込み、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する、急性期病床のダウンサイジングなどが実施されることが望ましい。

##### （中部）

中部（倉吉）の人口約 11 万人、面積 781/km<sup>2</sup>、人口密度は約 140 人/km<sup>2</sup>であり、過疎型二次医療圏である。中部には、年間全身麻酔 1,000 件を超える県立厚生病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は55(一般病床60、療養病床52、精神病床50)、総医師数が47(病院勤務医数47、診療所医師47)、総看護師数57、全身麻酔数54と、地方としては充実しており、他の医療圏間との患者の流入・流出も少ない独立した医療圏を形成している。また、総高齢者ベッド数は偏差値51である。

2010→40年の医療の総需要が13%減、0-64歳が39%減、75歳以上が11%増であり、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換することが望ましい。

### (西部)

西部(米子)は、人口約24万人、面積1,208/km<sup>2</sup>、人口密度は約200人/km<sup>2</sup>であり、地方都市型二次医療圏である。米子には鳥取大学(697床、全麻3,000件以上、救命救急)があり、年間全身麻酔1,000件を超える山陰労災病院、年間500件以上の全麻を行う米子医療センター、博愛病院があり、山陰地方の医療提供の中心である。

人口当たりの総病床数の偏差値は56(一般病床59、療養病床51、精神病床54)、総医師数が65(病院勤務医数66、診療所医師59)、総看護師数57、全身麻酔数64であり、高レベルの医療提供体制である。総高齢者ベッド数は偏差値62であり、高齢者施設も充実している。

2010→40年の鳥取県全体の総医療需要が5%減、0-64歳の医療需要が37%減、西部(米子)の総医療需要が6%減、0-64歳の医療需要が37%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後急速に強まっていくことが予想される。まず鳥取大学を中心に、鳥根県とも連携を取りながら、医療資源の地域マネジメント体制を目指すべきであろう。また人口減少に向けて、医師養成数の適正化と西部(米子)で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、西部の75歳以上医療需要の24%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

表 31-1 地理情報・人口動態

| 二次医療圏 | 人口                                                                                                                            | 県内シェア | 面積      | 県内シェア | 人口密度  | 地域タイプ | 高齢化率 | 2010→40年<br>総人口増減率 | 2010→40年<br>75歳以上人口増減率 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-------|-------|-------|------|--------------------|------------------------|
| 全国    | 128,057,352                                                                                                                   |       | 372,903 |       | 343.4 |       | 23%  | -16%               | 58%                    |
| 鳥取県   | 588,667                                                                                                                       | 47位   | 3,507   | 41位   | 167.8 |       | 26%  | -25%               | 24%                    |
| 東部    | 239,829                                                                                                                       | 41%   | 1,519   | 43%   | 157.9 | 地方都市型 | 24%  | -24%               | 32%                    |
| 中部    | 108,737                                                                                                                       | 18%   | 781     | 22%   | 139.3 | 過疎型   | 29%  | -28%               | 11%                    |
| 西部    | 240,101                                                                                                                       | 41%   | 1,208   | 34%   | 198.8 | 地方都市型 | 27%  | -25%               | 24%                    |
| 出典    | <2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月<br><面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年<br><2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 |       |         |       |       |       |      |                    |                        |

表 31-2 病院数、診療所施設数

| 二次医療圏 | 病院数                          | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 診療所<br>施設数                    | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|-------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 全国    | 8,605                        |           | 6.7             | (4.0)               | 99,547                        |           | 78              | (19.4)              |
| 鳥取県   | 45                           | 0.5%      | 7.6             | 52                  | 517                           | 0.5%      | 88              | 55                  |
| 東部    | 14                           | 31%       | 5.8             | 48                  | 196                           | 38%       | 82              | 52                  |
| 中部    | 11                           | 24%       | 10.1            | 59                  | 87                            | 17%       | 80              | 51                  |
| 西部    | 20                           | 44%       | 8.3             | 54                  | 234                           | 45%       | 97              | 60                  |
| 出典    | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |           |                 |                     |

表 31-3 病院総病床数、診療所病床数

| 二次医療圏 | 病院<br>総病床数                   | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 診療所<br>病床数                   | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 全国    | 1,571,473                    |           | 1,228           | (474)               | 126,031                      |           | 98              | (106)               |
| 鳥取県   | 8,825                        | 0.6%      | 1,499           | 56                  | 679                          | 0.5%      | 115             | 52                  |
| 東部    | 3,553                        | 40%       | 1,481           | 55                  | 163                          | 24%       | 68              | 47                  |
| 中部    | 1,593                        | 18%       | 1,465           | 55                  | 134                          | 20%       | 123             | 52                  |
| 西部    | 3,679                        | 42%       | 1,532           | 56                  | 382                          | 56%       | 159             | 56                  |
| 出典    | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     |

表 31-4 診療所施設数(全体、無床、有床)

| 二次医療圏 | 診療所<br>施設数<br>(再掲)            | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 無床診療<br>所施設数                  | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 有床診療<br>所施設数                  | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|-------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|-------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|-------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 全国    | 99,547                        |           | 78              | (19.4)              | 89,613                        |           | 70              | (18.9)              | 9,934                         |           | 7.76            | (6.9)               |
| 鳥取県   | 517                           | 0.5%      | 88              | 55                  | 461                           | 0.5%      | 78              | 54                  | 56                            | 0.6%      | 9.5             | 53                  |
| 東部    | 196                           | 38%       | 82              | 52                  | 182                           | 39%       | 76              | 53                  | 14                            | 25%       | 5.8             | 47                  |
| 中部    | 87                            | 17%       | 80              | 51                  | 76                            | 16%       | 70              | 50                  | 11                            | 20%       | 10.1            | 53                  |
| 西部    | 234                           | 45%       | 97              | 60                  | 203                           | 44%       | 85              | 58                  | 31                            | 55%       | 12.9            | 58                  |
| 出典    | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |           |                 |                     | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |           |                 |                     | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |           |                 |                     |

表 31-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

| 二次医療圏 | 一般<br>病床数                    | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 療養<br>病床数                    | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 精神<br>病床数                    | 県内<br>シェア | 人口<br>10万<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 全国    | 896,277                      |           | 700             | (226)               | 324,828                      |           | 254             | (196)               | 339,459                      |           | 265             | (206)               |
| 鳥取県   | 5,122                        | 0.6%      | 870             | 58                  | 1,734                        | 0.5%      | 295             | 52                  | 1,923                        | 0.6%      | 327             | 53                  |
| 東部    | 1,939                        | 38%       | 808             | 55                  | 766                          | 44%       | 319             | 53                  | 816                          | 42%       | 340             | 54                  |
| 中部    | 996                          | 19%       | 916             | 60                  | 315                          | 18%       | 290             | 52                  | 278                          | 14%       | 256             | 50                  |
| 西部    | 2,187                        | 43%       | 911             | 59                  | 653                          | 38%       | 272             | 51                  | 829                          | 43%       | 345             | 54                  |
| 出典    | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局<br>平成24年11月 |           |                 |                     |

表 31-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

| 二次医療圏 | 救急救命センター       | 県内シェア | 人口100万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | がん診療拠点病院                            | 県内シェア | 人口100万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 全身麻酔件数                        | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 |
|-------|----------------|-------|----------|-----------------|-------------------------------------|-------|----------|-----------------|-------------------------------|-------|---------|-----------------|
| 全国    | 204            |       | 1.59     | (2.22)          | 377                                 |       | 2.95     | (3.5)           | 2,577,228                     |       | 2,013   | (947)           |
| 鳥取県   | 2              | 1.0%  | 3.4      | 58              | 5                                   | 1.3%  | 8.5      | 66              | 15,888                        | 0.6%  | 2,699   | 57              |
| 東部    | 1              | 50%   | 4.2      | 62              | 2                                   | 40%   | 8.3      | 65              | 5,208                         | 33%   | 2,172   | 52              |
| 中部    | 0              | 0%    | 0        | 43              | 1                                   | 20%   | 9.2      | 68              | 2,604                         | 16%   | 2,395   | 54              |
| 西部    | 1              | 50%   | 4.2      | 62              | 2                                   | 40%   | 8.3      | 65              | 8,076                         | 51%   | 3,364   | 64              |
| 出典    | 平成24年10月 救急医学会 |       |          |                 | 平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター |       |          |                 | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 |

表 31-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

| 二次医療圏 | 総医師数             | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 病院勤務医数                      | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 診療所医師数                        | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 |
|-------|------------------|-------|---------|-----------------|-----------------------------|-------|---------|-----------------|-------------------------------|-------|---------|-----------------|
| 全国    | 321,268          |       | 251     | (87)            | 199,499                     |       | 156     | (63)            | 121,769                       |       | 95      | (31)            |
| 鳥取県   | 1,692            | 0.5%  | 287     | 54              | 1,088                       | 0.5%  | 185     | 55              | 603                           | 0.5%  | 103     | 52              |
| 東部    | 536              | 32%   | 223     | 47              | 320                         | 29%   | 133     | 46              | 216                           | 36%   | 90      | 48              |
| 中部    | 243              | 14%   | 224     | 47              | 149                         | 14%   | 137     | 47              | 95                            | 16%   | 87      | 47              |
| 西部    | 913              | 54%   | 380     | 65              | 620                         | 57%   | 258     | 66              | 293                           | 49%   | 122     | 59              |
| 出典    | 病院勤務医数と診療所医師数の合計 |       |         |                 | 平成23年病院報告 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 |

表 31-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

| 二次医療圏 | 総看護師数             | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 病院看護師数                      | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 診療所看護師数                       | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 |
|-------|-------------------|-------|---------|-----------------|-----------------------------|-------|---------|-----------------|-------------------------------|-------|---------|-----------------|
| 全国    | 1,039,059         |       | 812     | (270)           | 858,317                     |       | 671     | (227)           | 180,742                       |       | 141     | (71)            |
| 鳥取県   | 5,893             | 0.6%  | 1,001   | 57              | 5,003                       | 0.6%  | 850     | 58              | 890                           | 0.5%  | 151     | 51              |
| 東部    | 2,392             | 41%   | 997     | 57              | 2,031                       | 41%   | 847     | 58              | 360                           | 40%   | 150     | 51              |
| 中部    | 1,087             | 18%   | 1,000   | 57              | 904                         | 18%   | 831     | 57              | 183                           | 21%   | 169     | 54              |
| 西部    | 2,414             | 41%   | 1,006   | 57              | 2,068                       | 41%   | 861     | 58              | 347                           | 39%   | 144     | 50              |
| 出典    | 病院看護師数と診療所看護師数の合計 |       |         |                 | 平成23年病院報告 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 | 平成23年医療施設調査 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 |

表 31-9 療法士数と回復期病床数

| 二次医療圏 | 総療法士数                       | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 | 回復期病床数                | 県内シェア | 人口10万当り | 偏差値<br>*全国は標準偏差 |
|-------|-----------------------------|-------|---------|-----------------|-----------------------|-------|---------|-----------------|
| 全国    | 95,471                      |       | 74.6    | (41)            | 63,959                |       | 49.9    | (44)            |
| 鳥取県   | 712                         | 0.7%  | 121     | 61              | 591                   | 0.9%  | 100     | 62              |
| 東部    | 199                         | 28%   | 83      | 52              | 185                   | 31%   | 77      | 56              |
| 中部    | 139                         | 19%   | 128     | 63              | 162                   | 27%   | 149     | 73              |
| 西部    | 375                         | 53%   | 156     | 70              | 244                   | 41%   | 102     | 62              |
| 出典    | 平成23年病院報告 厚生労働省<br>平成23年10月 |       |         |                 | 平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協議会 |       |         |                 |

表 31-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

| 二次医療圏 | 在宅療養支援診療所                 | 県内シェア | 75歳以上1万人当り | 偏差値*全国は標準偏差 | 在宅療養支援病院                  | 県内シェア | 75歳以上1万人当り | 偏差値*全国は標準偏差 | 訪問看護ステーション                    | 県内シェア | 75歳以上1万人当り | 偏差値*全国は標準偏差 |
|-------|---------------------------|-------|------------|-------------|---------------------------|-------|------------|-------------|-------------------------------|-------|------------|-------------|
| 全国    | 14,058                    |       | 10.0       | (5.4)       | 779                       |       | 0.55       | (0.6)       | 6,814                         |       | 4.84       | (1.5)       |
| 鳥取県   | 63                        | 0.4%  | 7.4        | 45          | 2                         | 0.3%  | 0.2        | 45          | 45                            | 0.7%  | 5.3        | 53          |
| 東部    | 22                        | 35%   | 6.8        | 44          | 0                         | 0%    | 0          | 41          | 14                            | 31%   | 4.3        | 46          |
| 中部    | 10                        | 16%   | 5.6        | 42          | 0                         | 0%    | 0          | 41          | 8                             | 18%   | 4.5        | 48          |
| 西部    | 31                        | 49%   | 9.0        | 48          | 2                         | 100%  | 0.6        | 50          | 23                            | 51%   | 6.6        | 62          |
| 出典    | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月 |       |            |             | 届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月 |       |            |             | 介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月 |       |            |             |

図 31-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

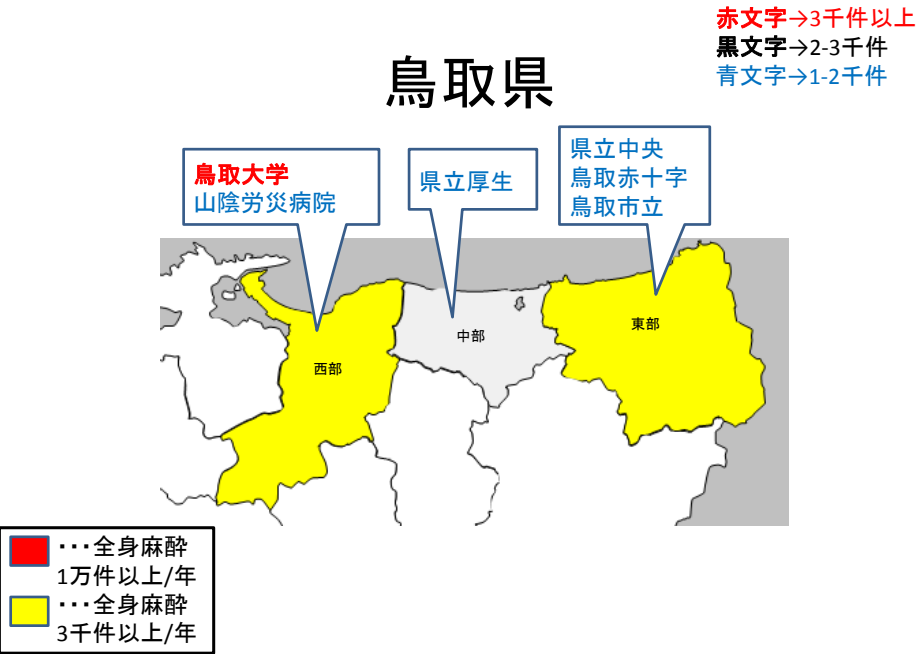


表 31-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

| 二次医療圏 | 総高齢者ベッド数                                   | 全国シェア県内シェア | 75歳以上1,000人当り | 偏差値*全国は標準偏差 | 介護保険施設ベッド数                                                     | 全国シェア県内シェア | 75歳以上1,000人当り | 偏差値*全国は標準偏差 | 総高齢者住宅数                                           | 全国シェア県内シェア | 75歳以上1,000人当り | 偏差値*全国は標準偏差 |
|-------|--------------------------------------------|------------|---------------|-------------|----------------------------------------------------------------|------------|---------------|-------------|---------------------------------------------------|------------|---------------|-------------|
| 全国    | 1,696,557                                  |            | 121           | (23.2)      | 936,747                                                        |            | 67            | (12.5)      | 759,810                                           |            | 54            | (20.5)      |
| 鳥取県   | 11,165                                     | 0.7%       | 131           | 55          | 6,408                                                          | 0.7%       | 75            | 57          | 4,757                                             | 0.6%       | 56            | 51          |
| 東部    | 3,828                                      | 34%        | 117           | 49          | 2,491                                                          | 39%        | 76            | 58          | 1,337                                             | 28%        | 41            | 44          |
| 中部    | 2,192                                      | 20%        | 122           | 51          | 1,238                                                          | 19%        | 69            | 52          | 954                                               | 20%        | 53            | 50          |
| 西部    | 5,145                                      | 46%        | 149           | 62          | 2,679                                                          | 42%        | 77            | 59          | 2,466                                             | 52%        | 71            | 58          |
| 出典    | 田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計 |            |               |             | 田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計 |            |               |             | 田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計 |            |               |             |

表 31-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

| 二次医療圏 | 老人保健施設(老健)収容数        | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 特別養護<br>老人ホーム<br>(特養)<br>収容数 | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 介護療養<br>病床数          | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------------|------------------------------|----------------|-----------------------|---------------------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------------|
| 全国    | 350,538              |                | 25                    | (5.8)               | 501,495                      |                | 36                    | (10.0)              | 84,714               |                | 6.0                   | (5.3)               |
| 鳥取県   | 3,074                | 0.9%           | 36                    | 69                  | 2,965                        | 0.6%           | 35                    | 49                  | 369                  | 0.4%           | 4.3                   | 47                  |
| 東部    | 961                  | 31%            | 29                    | 58                  | 1,243                        | 42%            | 38                    | 52                  | 287                  | 78%            | 8.8                   | 55                  |
| 中部    | 677                  | 22%            | 38                    | 72                  | 554                          | 19%            | 31                    | 45                  | 7                    | 2%             | 0.4                   | 39                  |
| 西部    | 1,436                | 47%            | 41                    | 79                  | 1,168                        | 39%            | 34                    | 48                  | 75                   | 20%            | 2.2                   | 43                  |
| 出典    | 田村プランニング(平成25年1月データ) |                |                       |                     | 田村プランニング(平成25年1月データ)         |                |                       |                     | 田村プランニング(平成25年1月データ) |                |                       |                     |

表 31-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

| 二次医療圏 | 有料老人ホーム              | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | グループ<br>ホーム          | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 | 高齢者<br>住宅            | 全国シェア<br>県内シェア | 75歳以上<br>1,000人<br>当り | 偏差値<br>*全国は<br>標準偏差 |
|-------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------------|
| 全国    | 313,116              |                | 22.3                  | (16.7)              | 171,021              |                | 12.2                  | (5.9)               | 88,421               |                | 6.3                   | (4.0)               |
| 鳥取県   | 1,014                | 0.3%           | 11.9                  | 44                  | 1,079                | 0.6%           | 12.7                  | 51                  | 872                  | 1.0%           | 10.2                  | 60                  |
| 東部    | 251                  | 25%            | 7.7                   | 41                  | 261                  | 24%            | 8.0                   | 43                  | 205                  | 24%            | 6.3                   | 50                  |
| 中部    | 51                   | 5%             | 2.8                   | 38                  | 368                  | 34%            | 20.6                  | 64                  | 97                   | 11%            | 5.4                   | 48                  |
| 西部    | 712                  | 70%            | 20.6                  | 49                  | 450                  | 42%            | 13.0                  | 51                  | 570                  | 65%            | 16.5                  | 76                  |
| 出典    | 田村プランニング(平成25年1月データ) |                |                       |                     | 田村プランニング(平成25年1月データ) |                |                       |                     | 田村プランニング(平成25年1月データ) |                |                       |                     |

表 31-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推移

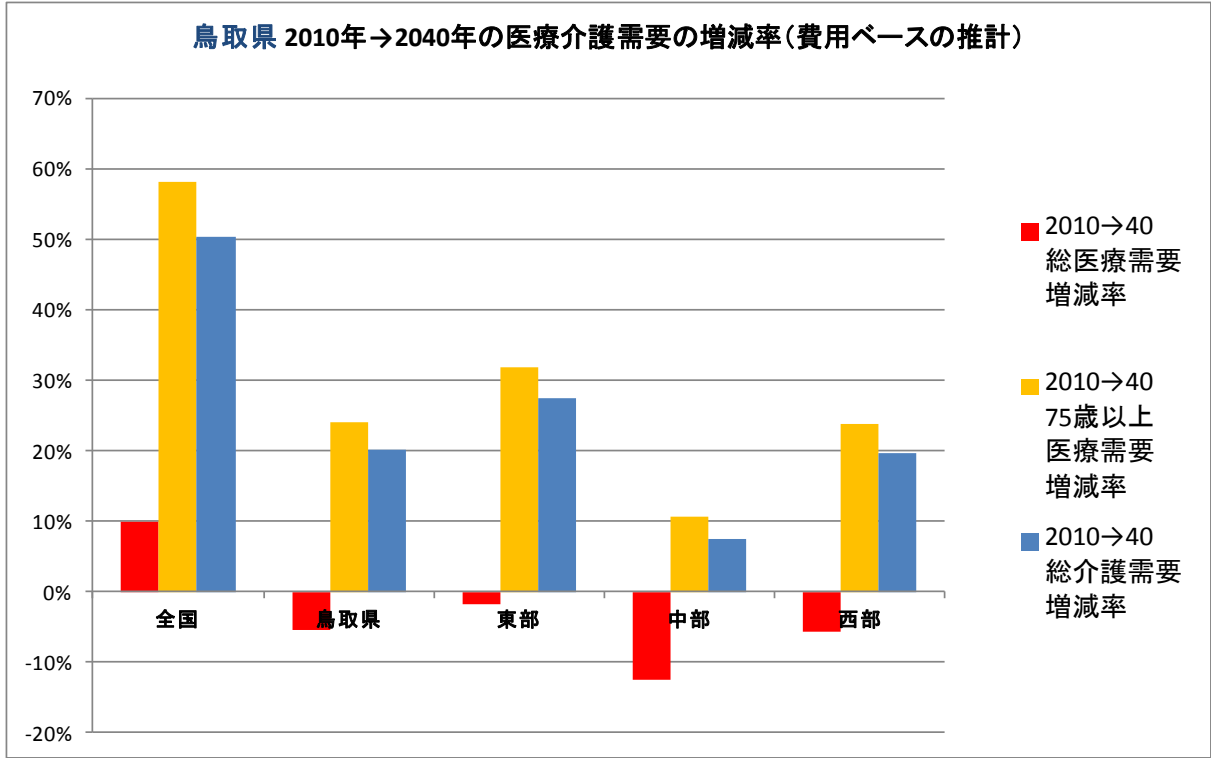
|       | ～64歳人口                                                                  |            |            | 2010年を100とした<br>～64歳人口 |      |      | 75歳以上人口    |            |            | 2010年を100とした<br>75歳以上人口 |      |      |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------------------|------|------|------------|------------|------------|-------------------------|------|------|
| 二次医療圏 | 2020                                                                    | 2030       | 2040       | 2020                   | 2030 | 2040 | 2020       | 2030       | 2040       | 2020                    | 2030 | 2040 |
| 全国    | 88,023,301                                                              | 79,833,026 | 69,345,059 | 89                     | 81   | 70   | 18,778,797 | 22,774,034 | 22,232,154 | 133                     | 162  | 158  |
| 鳥取県   | 366,270                                                                 | 319,004    | 272,571    | 84                     | 73   | 63   | 93,967     | 110,609    | 105,551    | 110                     | 130  | 124  |
| 東部    | 153,410                                                                 | 132,889    | 113,388    | 85                     | 73   | 63   | 35,666     | 43,293     | 42,908     | 109                     | 133  | 132  |
| 中部    | 64,231                                                                  | 55,237     | 47,363     | 83                     | 71   | 61   | 18,370     | 21,146     | 19,820     | 103                     | 118  | 111  |
| 西部    | 148,629                                                                 | 130,878    | 111,820    | 84                     | 74   | 63   | 39,931     | 46,170     | 42,823     | 115                     | 133  | 124  |
| 出典    | 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月<br>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 |            |            |                        |      |      |            |            |            |                         |      |      |

表 31-15 2010 年→40 年の医療・介護の需要予測

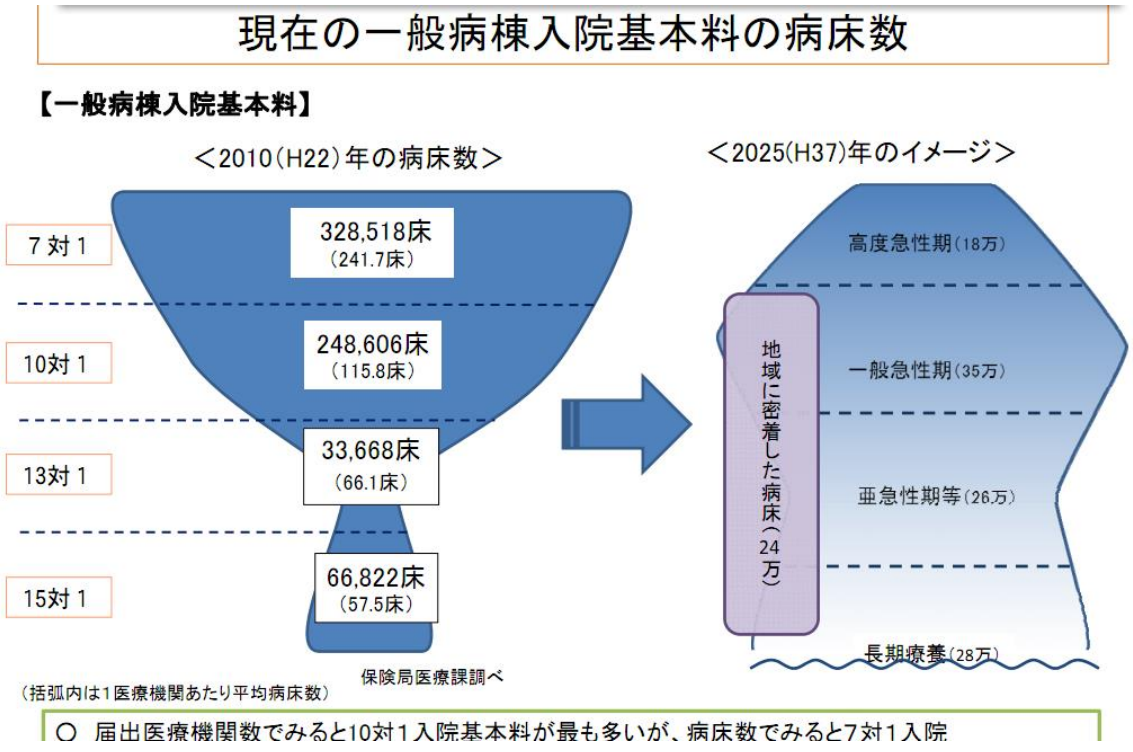
| 二次医療圏 | 地域区分                                                                                                                    | 2010→40  |              |              |          |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------|--------------|----------|
|       |                                                                                                                         | 総医療需要増減率 | 64歳以下医療需要増減率 | 75歳以上医療需要増減率 | 総介護需要増減率 |
| 全国    |                                                                                                                         | 10%      | -30%         | 58%          | 50%      |
| 鳥取県   |                                                                                                                         | -5%      | -37%         | 24%          | 20%      |
| 東部    | 2                                                                                                                       | -2%      | -37%         | 32%          | 27%      |
| 中部    | 3                                                                                                                       | -13%     | -39%         | 11%          | 8%       |
| 西部    | 2                                                                                                                       | -6%      | -37%         | 24%          | 20%      |
| 出典    | 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月<br>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月<br>平成23年度介護給付費実態調査報告 厚生労働省<br>平成22年度国民医療費 厚生労働省 |          |              |              |          |

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 31-2 鳥取県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測



巻末資料 2-2 鳥取県の病床機能分化シミュレーション



1.病床機能別病床数（人口割）

①「高機能病床18万床」、「一般病床36万床」、「亜急性病床26万床」、「療養病床28万床」が、2010年の人口割で、各都道府県や各医療圏に割り振られたと仮定する。

②鳥取県の人口は、589千人（2010年）なので、高機能病院は、鳥取大学附属病院及び鳥取県立中央病院とする。

| 二次医療圏 | 市町村概要    | 2010年<br>(総人口) | 対全国<br>人口比率 | 病床機能別人口割病床数 |       |           |       |
|-------|----------|----------------|-------------|-------------|-------|-----------|-------|
|       |          |                |             | 高機能<br>病床   | 一般病床  | 亜急性<br>病床 | 療養病床  |
| 東部    | 鳥取市及び周辺部 | 239,829        | 0.19%       | 337         | 674   | 487       | 524   |
| 中部    | 倉吉市及び周辺部 | 108,737        | 0.08%       | 153         | 306   | 221       | 238   |
| 西部    | 米子市及び周辺部 | 240,101        | 0.19%       | 337         | 675   | 487       | 525   |
| 合計    |          | 588,667        | 0.46%       | 827         | 1,655 | 1,195     | 1,287 |



### 3 亜急性期病床①

#### 亜急性期病床選定条件①

現状の一般病床から、新たに抽出した「高機能病床」、「一般病床」を控除

#### 【考察】

①いずれの医療圏も亜急性期病床が大幅に過剰。

| 二次医療圏 | 2010年<br>(総人口) | 対全国<br>人口比率 | 亜急性期病床<br>【試算値】 | 亜急性期病床<br>【実数】 | 過不足   | 比率      |
|-------|----------------|-------------|-----------------|----------------|-------|---------|
| 東部    | 239,829        | 0.19%       | 487             | 1,065          | 578   | 118.72% |
| 中部    | 108,737        | 0.08%       | 221             | 508            | 287   | 130.10% |
| 西部    | 240,101        | 0.19%       | 487             | 909            | 422   | 86.47%  |
| 合計    | 588,667        | 0.46%       | 1,195           | 2,482          | 1,287 | 107.66% |

2

Tottori Prefectural Central Hospital

### 3 亜急性期病床②

#### 亜急性期病床選定条件②

先の一般病床で「過剰」な病床がすべて亜急性期に転換されると仮定

#### 【考察】

①いずれの医療圏も、さらに絶望的に過剰。

| 二次医療圏 | 2010年<br>(総人口) | 対全国<br>人口比率 | 亜急性期<br>病床<br>【試算値】 | 亜急性期<br>病床<br>【実数】 | 一般病床<br>過不足 | 亜急性期<br>【実数】<br>+一般病<br>床過剰 | 過不足   | 比率      |
|-------|----------------|-------------|---------------------|--------------------|-------------|-----------------------------|-------|---------|
| 東部    | 239,829        | 0.19%       | 487                 | 1,065              | 364         | 1,429                       | 942   | 193.42% |
| 中部    | 108,737        | 0.08%       | 221                 | 508                | 409         | 917                         | 697   | 315.50% |
| 西部    | 240,101        | 0.19%       | 487                 | 909                | 404         | 1,313                       | 826   | 169.34% |
| 合計    | 588,667        | 0.46%       | 1,195               | 2,482              | 1,177       | 3,659                       | 2,464 | 206.15% |

2

Tottori Prefectural Central Hospital

#### 4.療養病床

##### 【考察】

中部医療圏は、療養病床が大きく不足する医療圏である。

東部医療圏は、大幅に過剰。

| 二次医療圏 | 2010年<br>(総人口) | 対全国<br>人口比率 | 療養病床<br>【試算値】 | 療養病床<br>【実数】 | 過不足  | 比率      |
|-------|----------------|-------------|---------------|--------------|------|---------|
| 東部    | 239,829        | 0.19%       | 524           | 864          | 340  | 64.76%  |
| 中部    | 108,737        | 0.08%       | 238           | 92           | -146 | -61.30% |
| 西部    | 240,101        | 0.19%       | 525           | 682          | 157  | 29.91%  |
| 合計    | 588,667        | 0.46%       | 1,287         | 1,638        | 351  | 27.26%  |

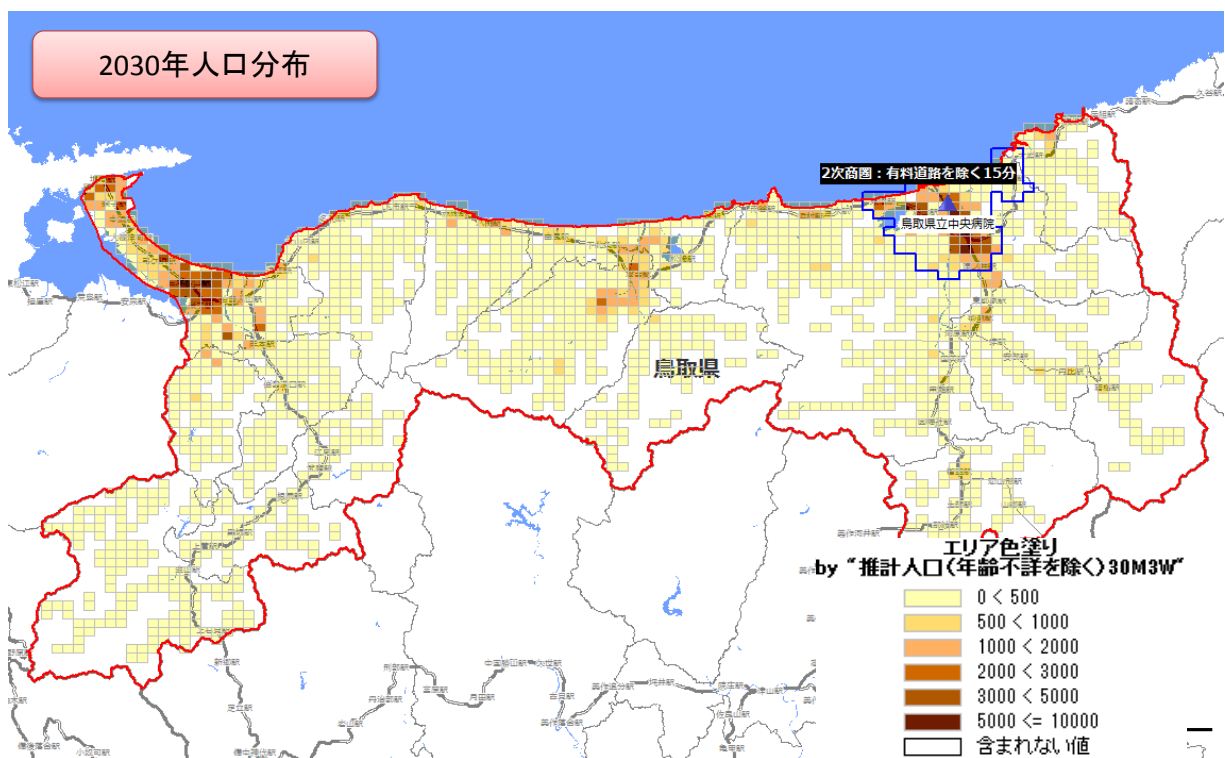
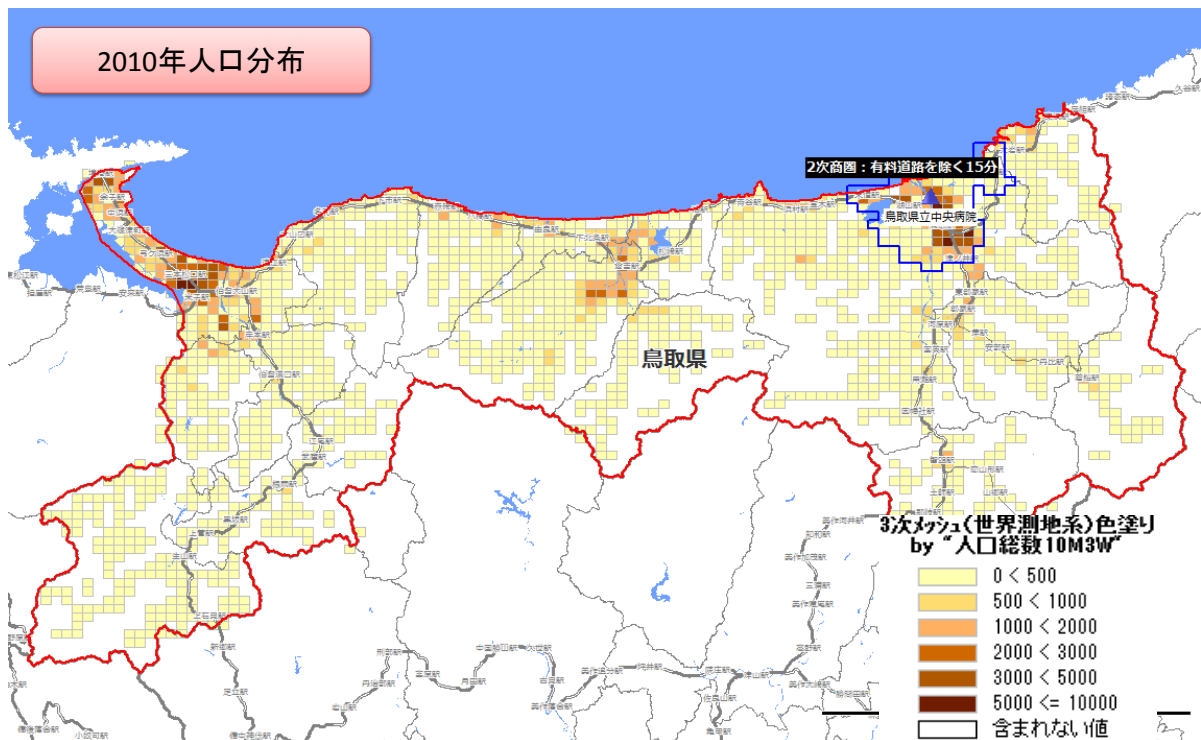
#### 5.まとめ

鳥取県の高機能病院は、西部医療圏に大学病院本院（Ⅰ群）が1病院しかなく、Ⅱ群病院が県内にない状況であり、問題がある。

一般病床及び亜急性期病床は、すべての医療圏で過剰である。さらに、中部医療圏以外は療養病床も過剰である。中期的にも、人口が減少していくため、病床の過剰状態は、ますます深刻化していく。

今後、機能集約、医療機関の淘汰が十分起こりうる医療圏である。

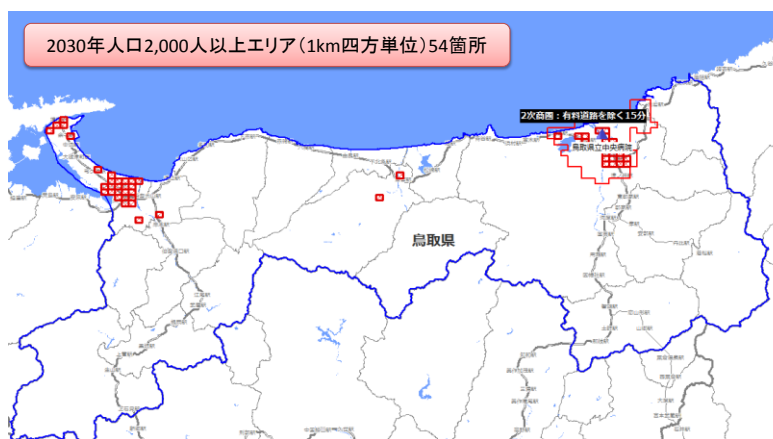
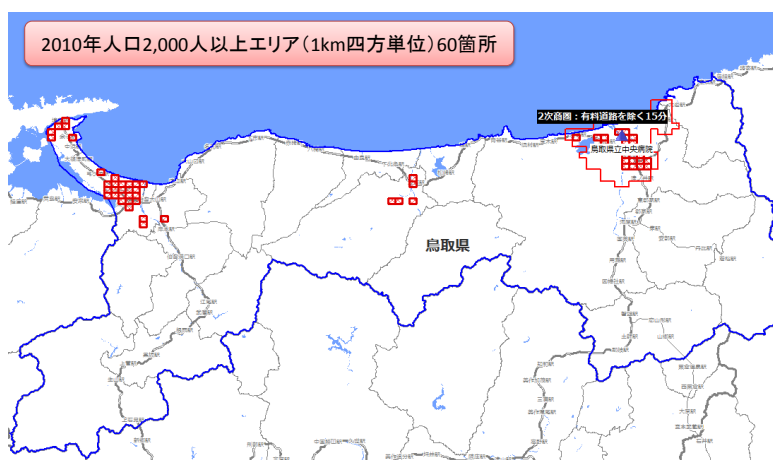
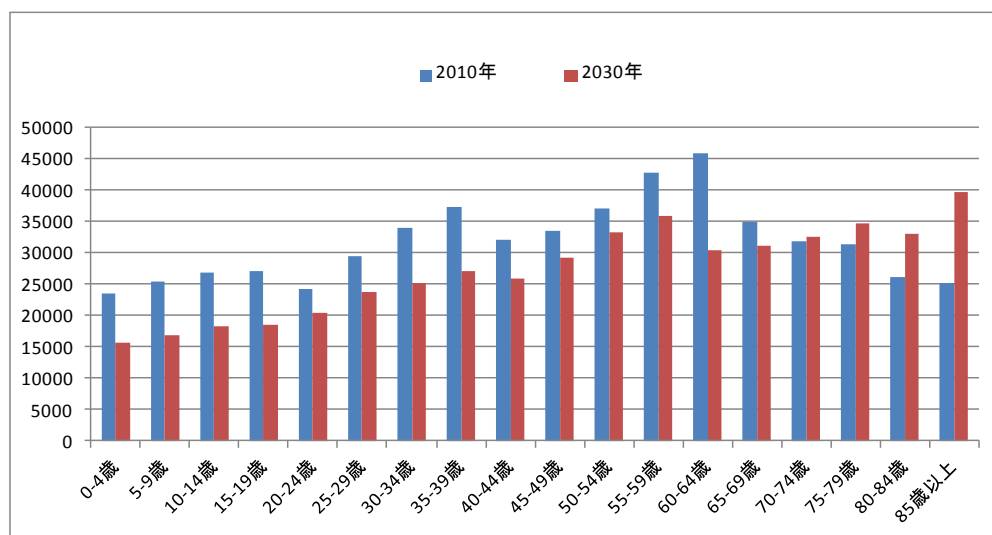
## 鳥取県立病院人口動態



## ●人口比較

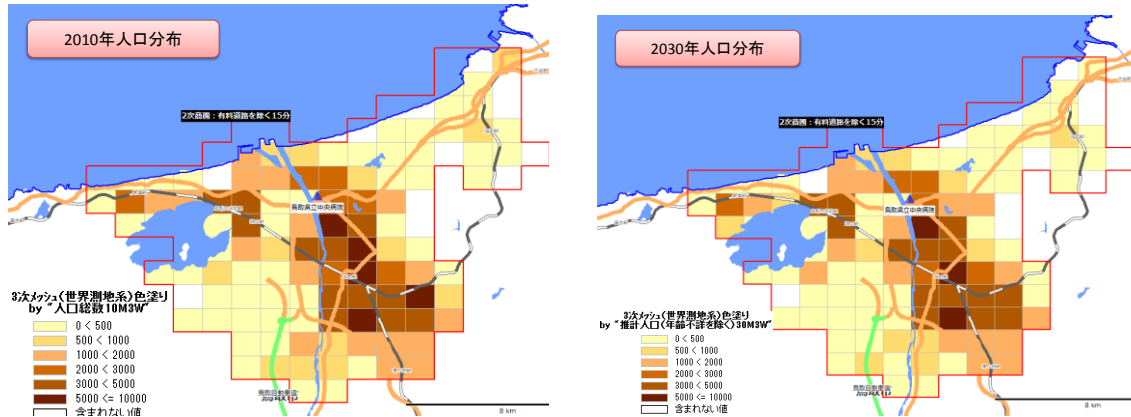
|         | 鳥取県     | 増減率   |
|---------|---------|-------|
| 2010年人口 | 572,871 | -     |
| 2030年人口 | 490,906 | 85.7% |

## ●年齢別人口比較



## 2010 年と 30 年鳥取県立中央病院車 15 分圏内人口

### ●鳥取県立中央病院（自動車15分圏内）



### ●人口比較

|         | 自動車15分  | 増減率   |
|---------|---------|-------|
| 2010年人口 | 146,041 | -     |
| 2030年人口 | 136,006 | 93.1% |

### ●年齢別人口比較

